

5 消費者教育について（問 24～28、報告書 p.107～138）

【結果概要】

①担当課

総合政策部 県民活動生活課 消費生活担当

②調査目的

消費者教育に関する受講経験や、消費者教育について今後知りたい分野、消費者教育が行われる場として重要だと思うもの、また、消費生活センターの認知度等についての調査を行うことにより、消費者教育に関する県民の皆さんの現状や意識を把握し、「滋賀県消費者基本計画」の次期改正時（平成27年度）に、消費者教育の推進に関する内容等を盛り込むための参考資料とする。

③調査結果の分析・考察

- 消費者教育に関する授業や講座等の受講経験（問24、p.107）では、いずれの分野についても「受けたことがない」という割合が高かったが、「環境に配慮した暮らし方に関すること」、「悪質商法の手口や対応方法に関すること」については、何らかの形で受講経験がある人がそれぞれ28.4%、25.1%と四分の一を超え、他の分野より比較的高くなっている。
- 消費者教育について今後、知りたい分野（問25、p.115）では、「悪質商法の手口や対応方法に関すること」が40.7%で最も高く、次いで、「安全・安心な商品・サービスの選び方に関すること」が34.9%となった。悪質商法の手口について、また、安全な商品等を選ぶための表示や広告の見方についてなど、消費者トラブルに遭わないための知識や情報に高い関心が寄せられていることがわかる。
- 消費者教育が行われる場として重要だと思うもの（問26、p.118）では、「幼・小・中・高等学校の授業等」が51.8%で最も高く、「家庭」が38.7%となった。「大学・専門学校での授業等」と答えた人は5.5%と少ないことから、成人まで教育の機会が重要と考えている人が多いことがうかがえる。その一方で、「地域での講座や研修会」が42.8%と2番目に高く、成人期の社会教育、生涯学習も必要と考えられていることがうかがえる。
- 幼児期から高齢期の各時期で重要だと思う消費者教育（問27、p.121）について、幼児期では「環境に配慮した暮らし方に関すること」、小学校期、中学校期、高校生期、成人期（若者）では「インターネットやスマートフォン利用時の注意点に関すること」、成人期（一般）では「消費生活に関する法律や制度に関すること」、成人期（高齢者）では「悪質商法の手口と対策」が最も高くなった。各時期に応じた教育内容を工夫する必要がある。
- 消費生活センター（相談窓口）の認知度（問28、p.136）では、「滋賀県消費生活センター」については50.9%、「市町の消費生活センター（消費生活相談窓口）」については62.2%と、過半数がその存在を知っていると回答し、県民により身近な市町の方が認知度が高い。ただ、業務内容まで知っている割合は「滋賀県消費生活センター」が13.0%、「市町の消費生活センター（消費生活相談窓口）」が16.4%にとどまっている。

④今後の施策への反映

今回の調査結果から、県民の消費者教育の受講経験や意識を把握することができた。

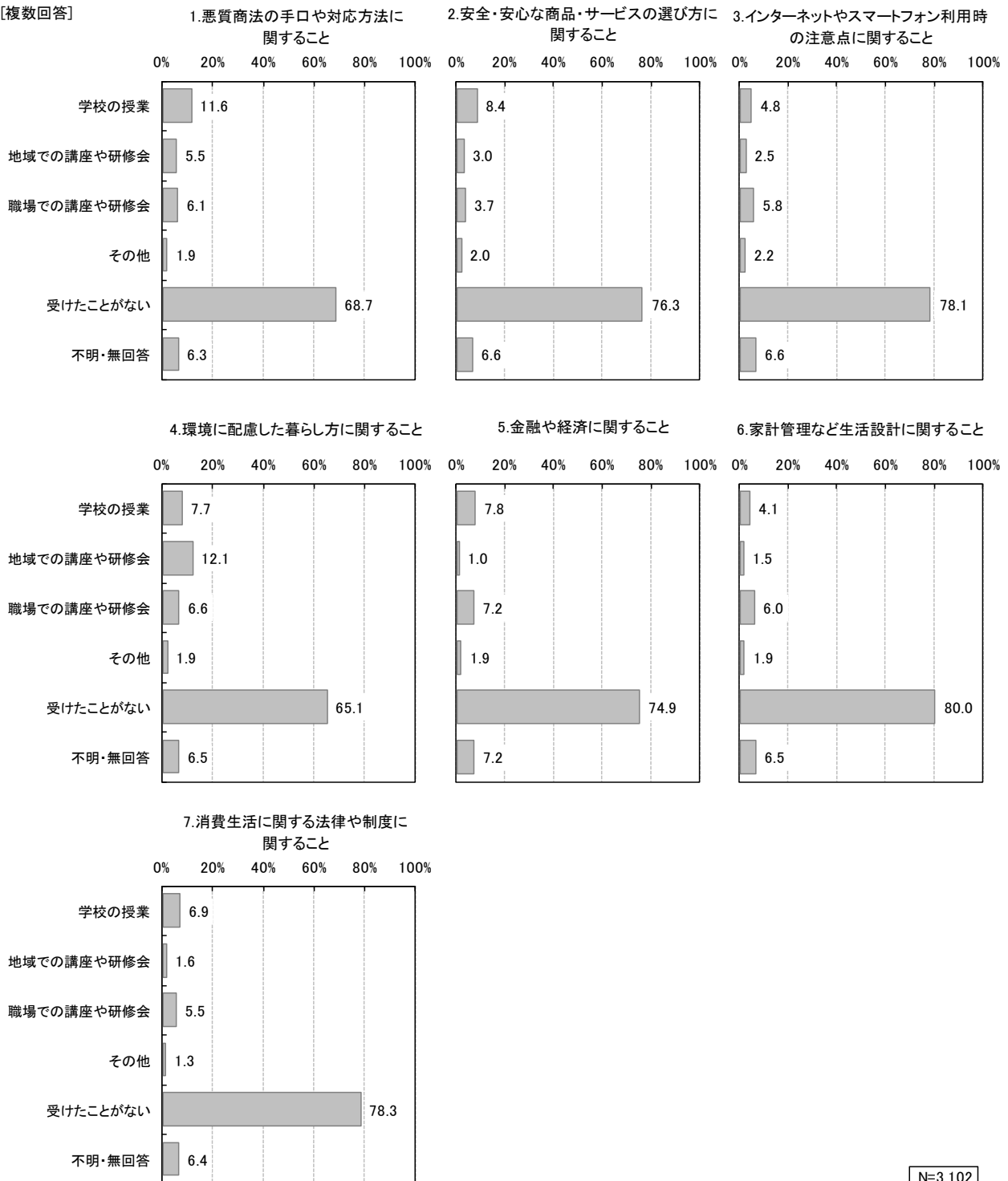
これらの結果は、消費者教育推進のための方策を検討するにあたり、消費生活審議会等の各種会議で報告し、現状および課題の把握のための参考資料として活用していく。

【結果表・グラフ】

(1) 消費者教育に関する授業や講座等の受講経験

問24 あなたは、下にあげる消費者教育に関する授業や講座等を受けたことがありますか。講座等を受けたことがある場合は、1～7のそれぞれの項目について、どこで受けたか右の欄の1～4の中から当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも) 講座等を受けたことがない場合は、5に〇をしてください。

[複数回答]

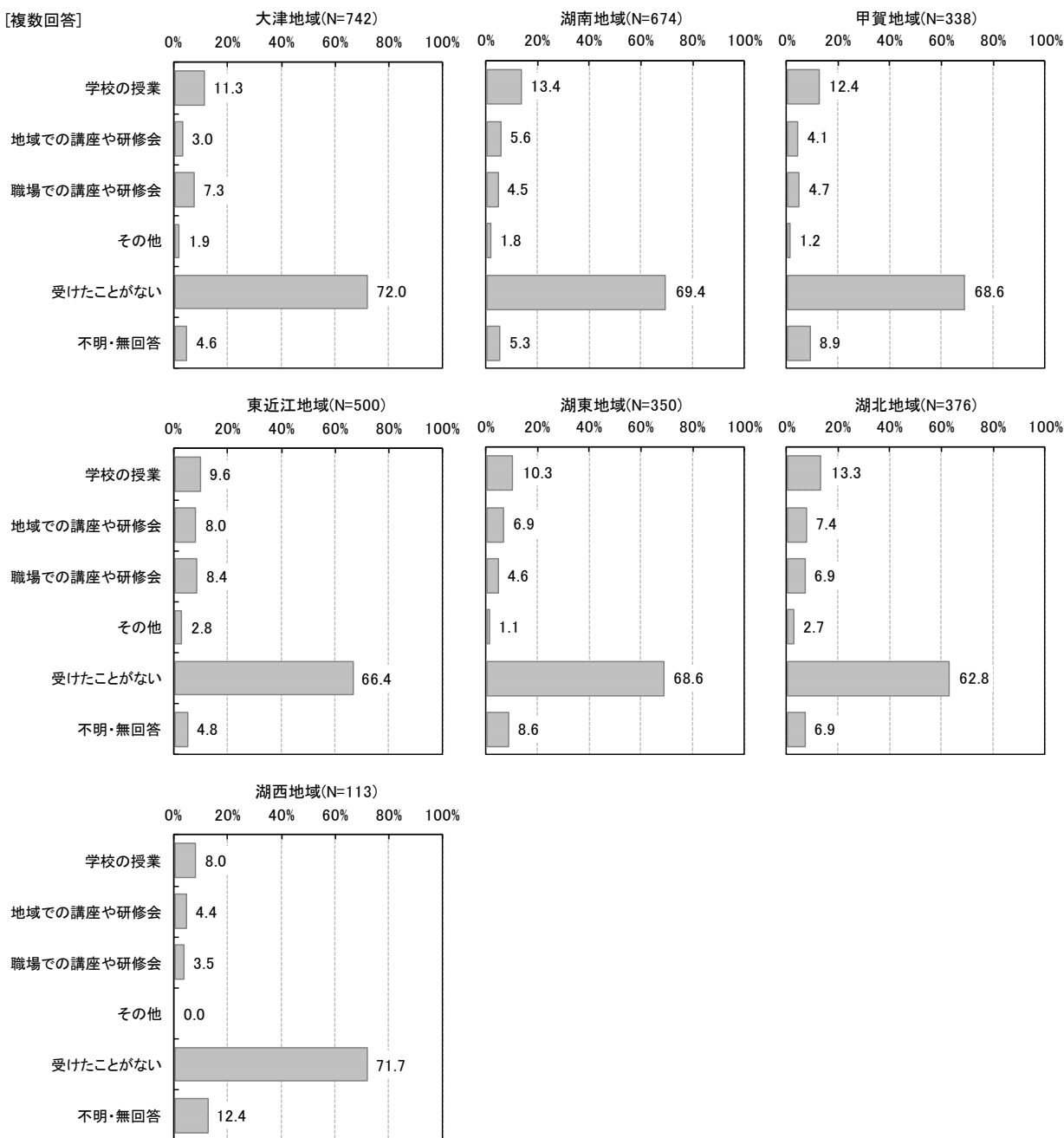


N=3,102

① 悪質商法の手口や対応方法に関すること（クーリング・オフなど）

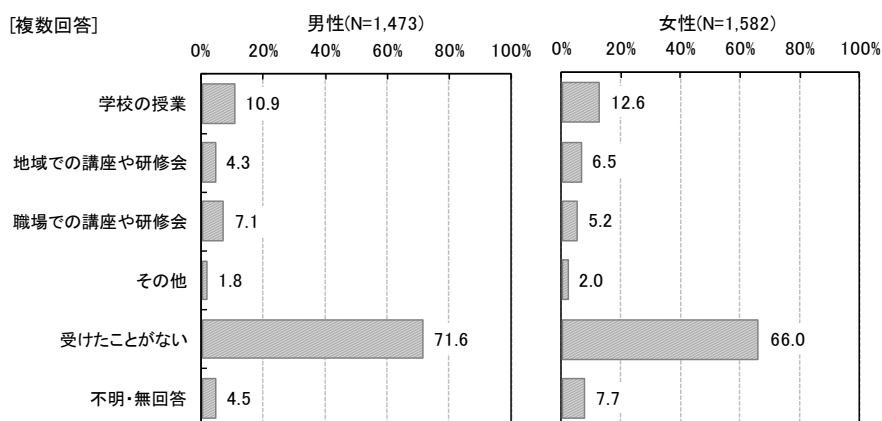
【地域別】

[複数回答]



【性別】

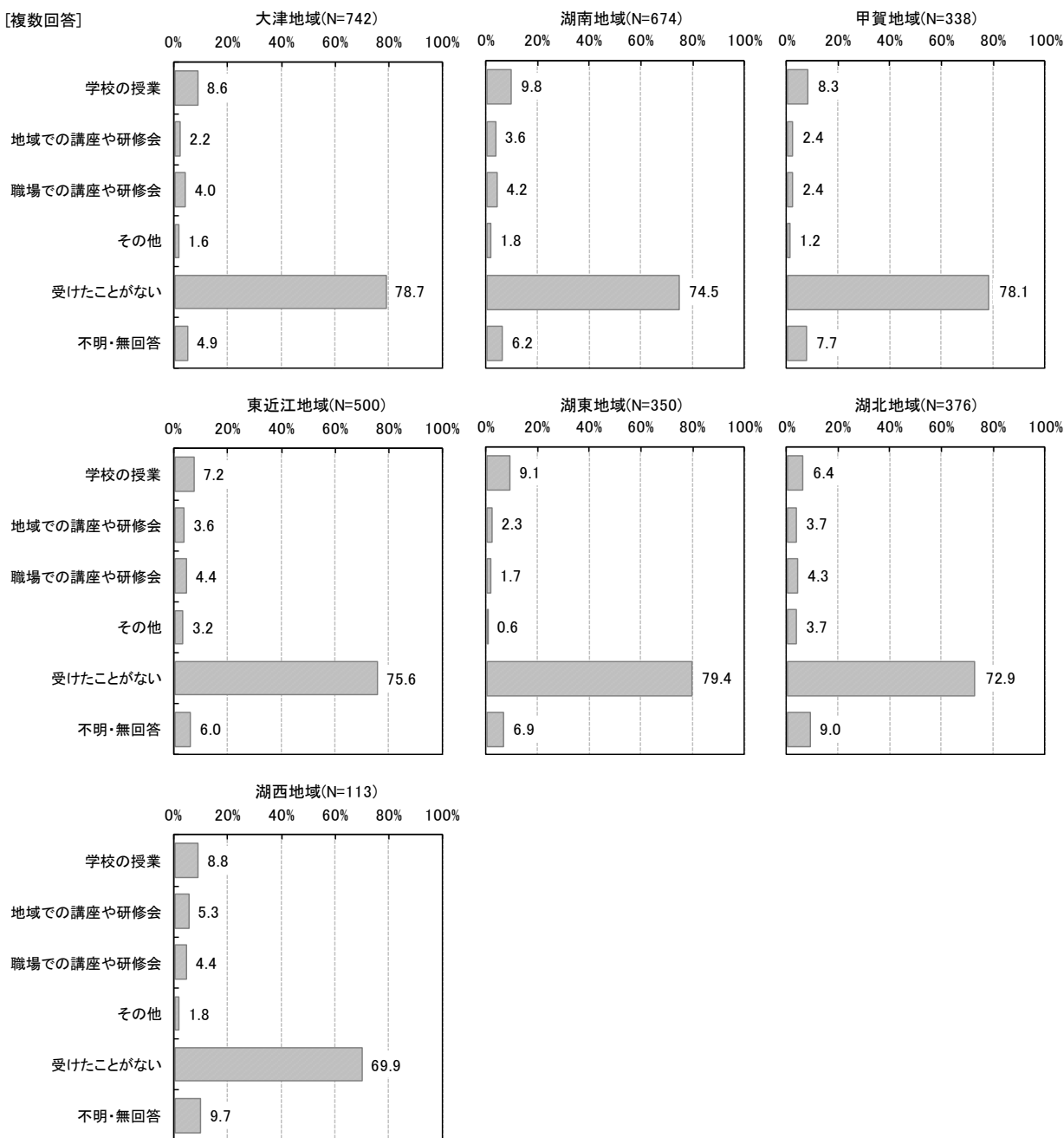
[複数回答]



②安全・安心な商品・サービスの選び方に関すること（表示・広告の見方など）

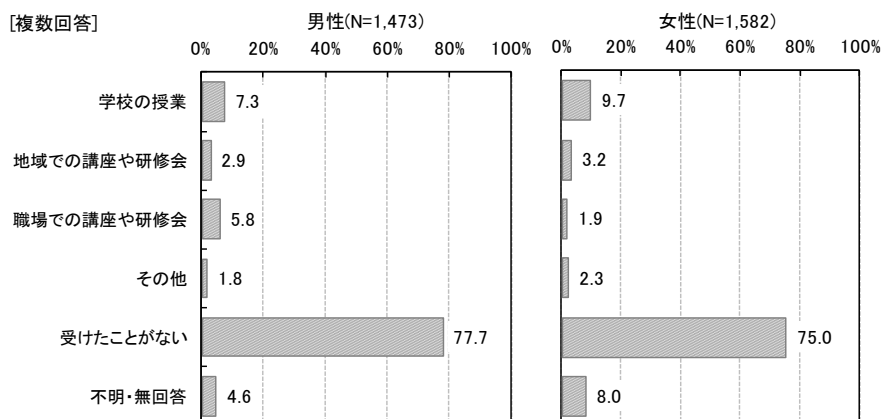
【地域別】

[複数回答]



【性別】

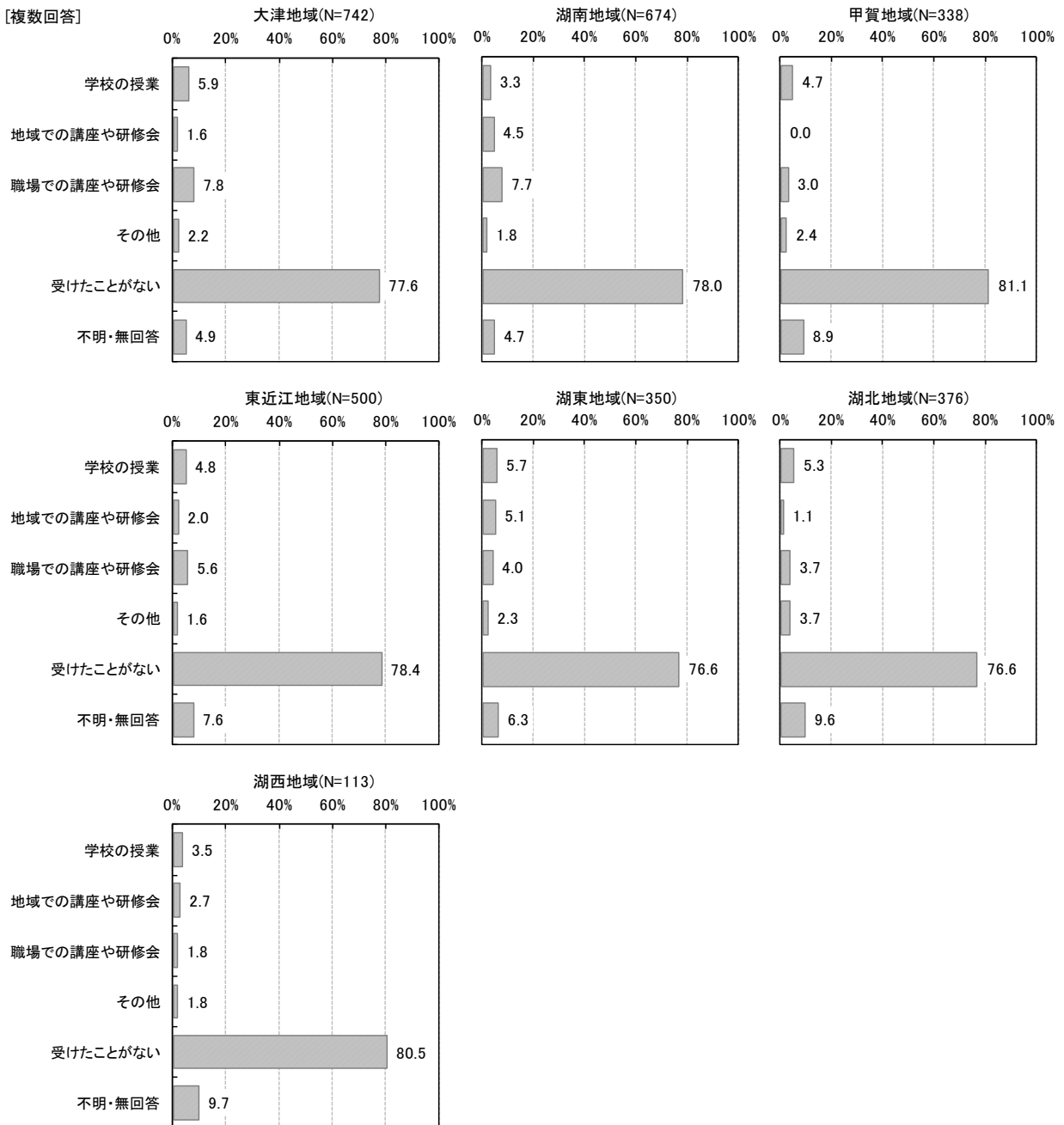
[複数回答]



③インターネットやスマートフォン利用時の注意点に関すること

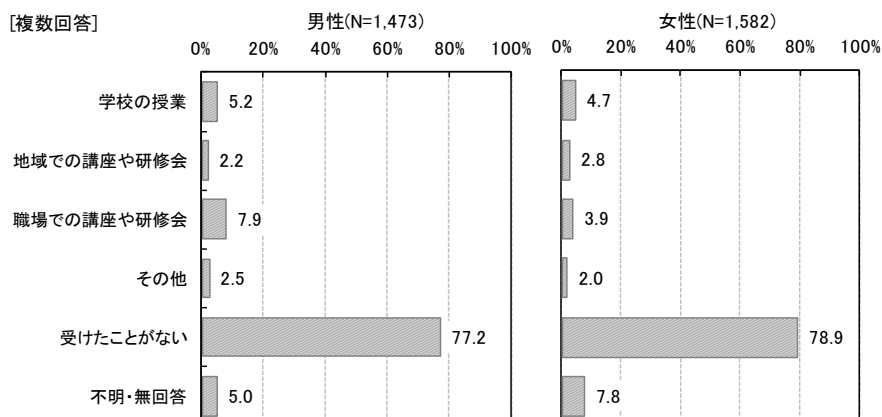
【地域別】

[複数回答]



【性別】

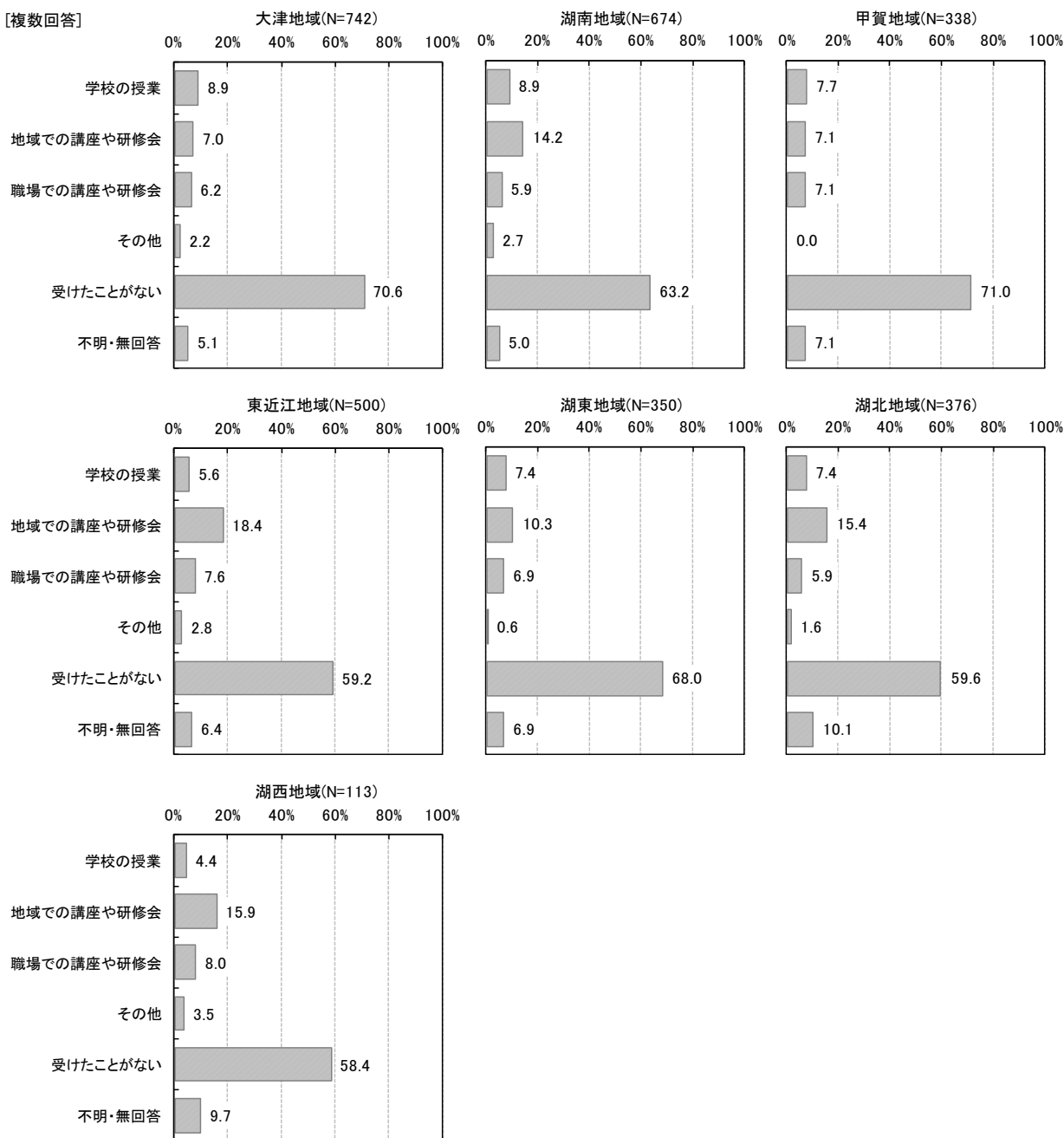
[複数回答]



④環境に配慮した暮らし方に関すること（エコ製品の購入やゴミの減量など）

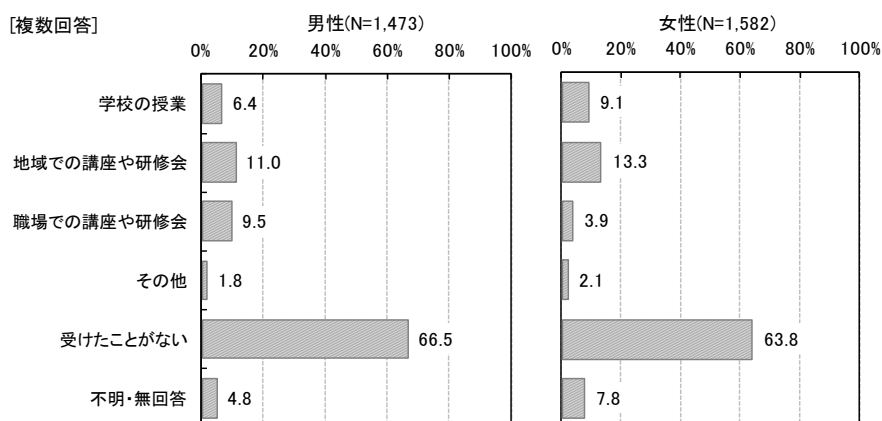
【地域別】

[複数回答]



【性別】

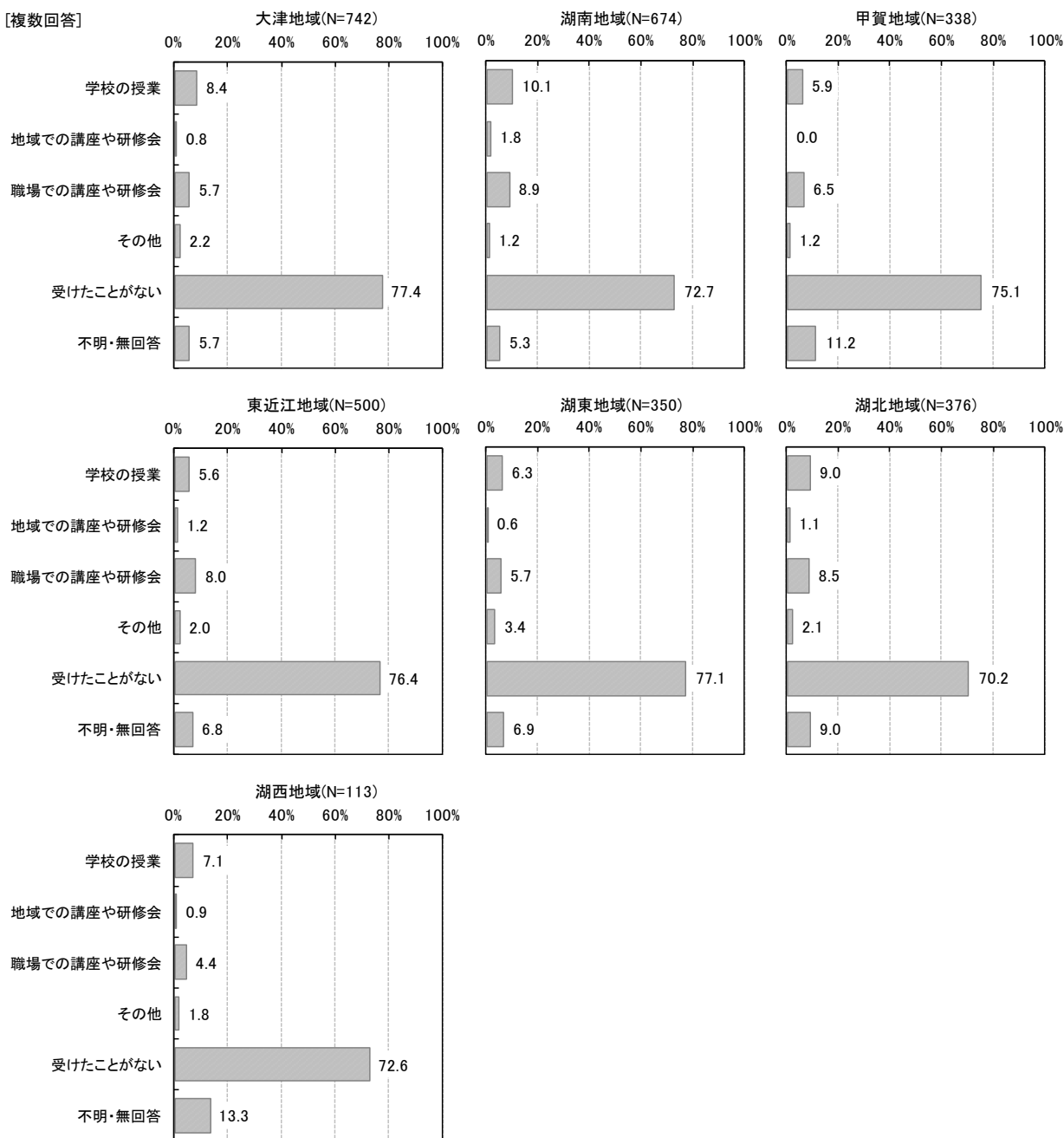
[複数回答]



⑤金融や経済に関すること

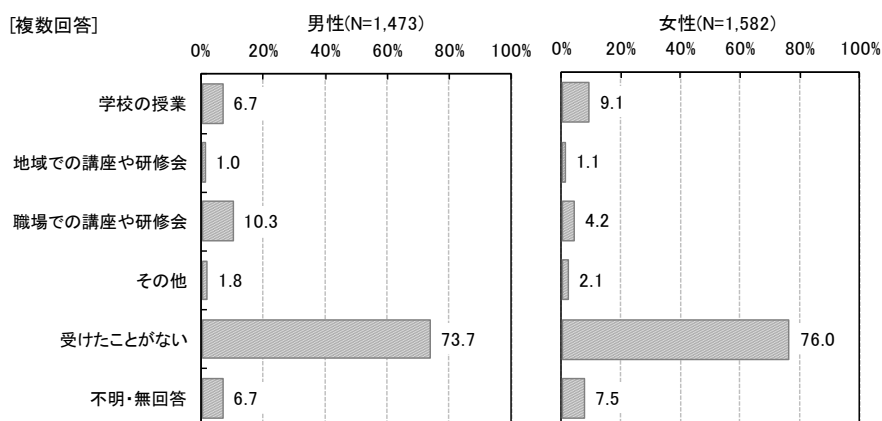
【地域別】

[複数回答]



【性別】

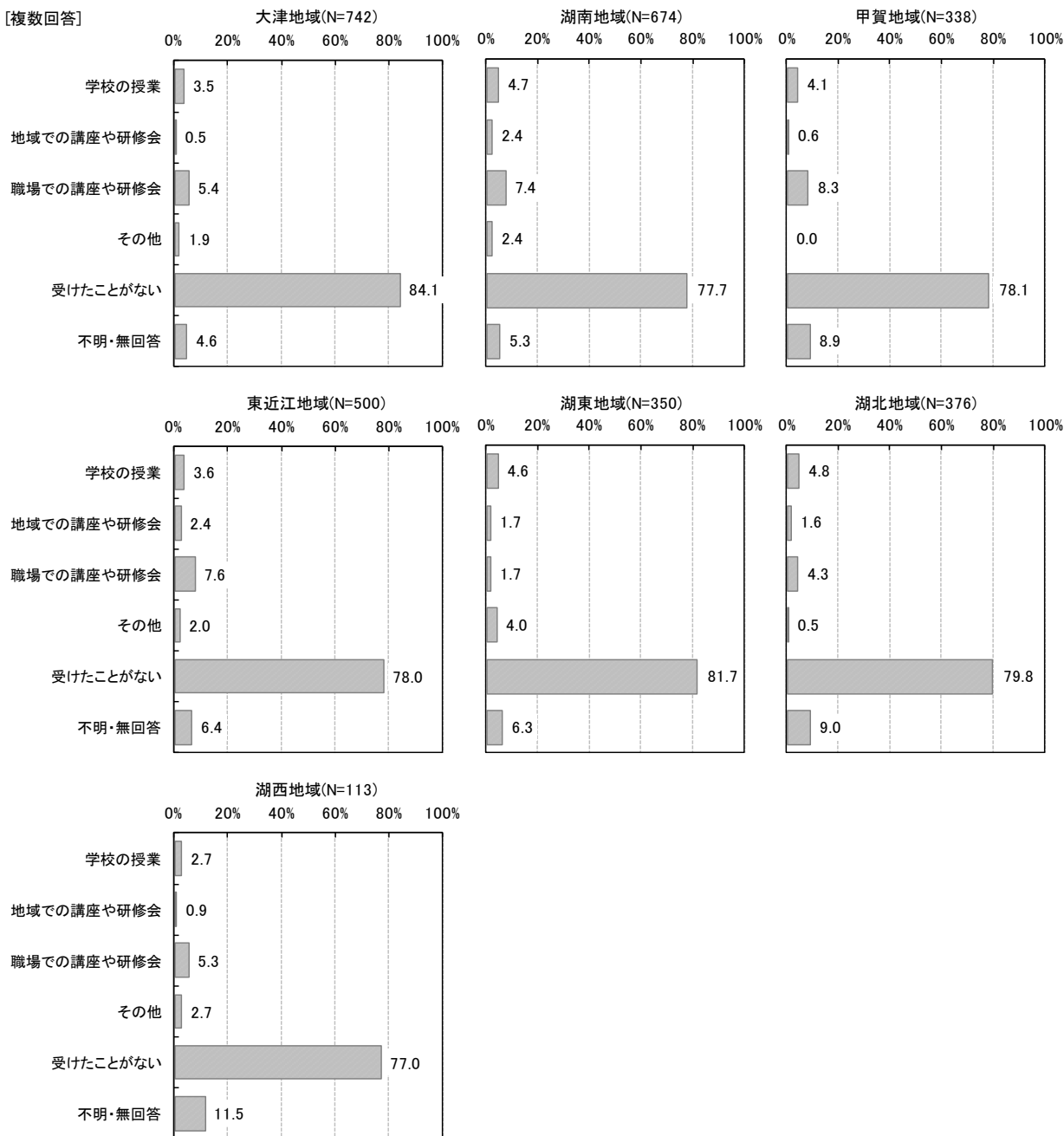
[複数回答]



⑥家計管理など生活設計（ライフプラン）に関すること

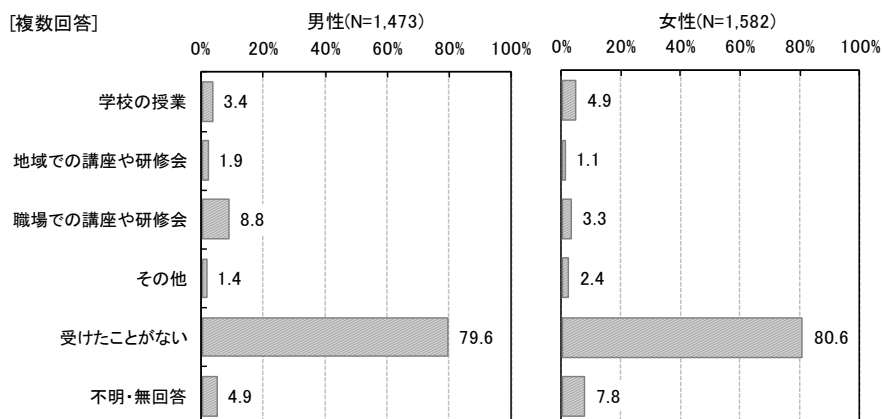
【地域別】

[複数回答]



【性別】

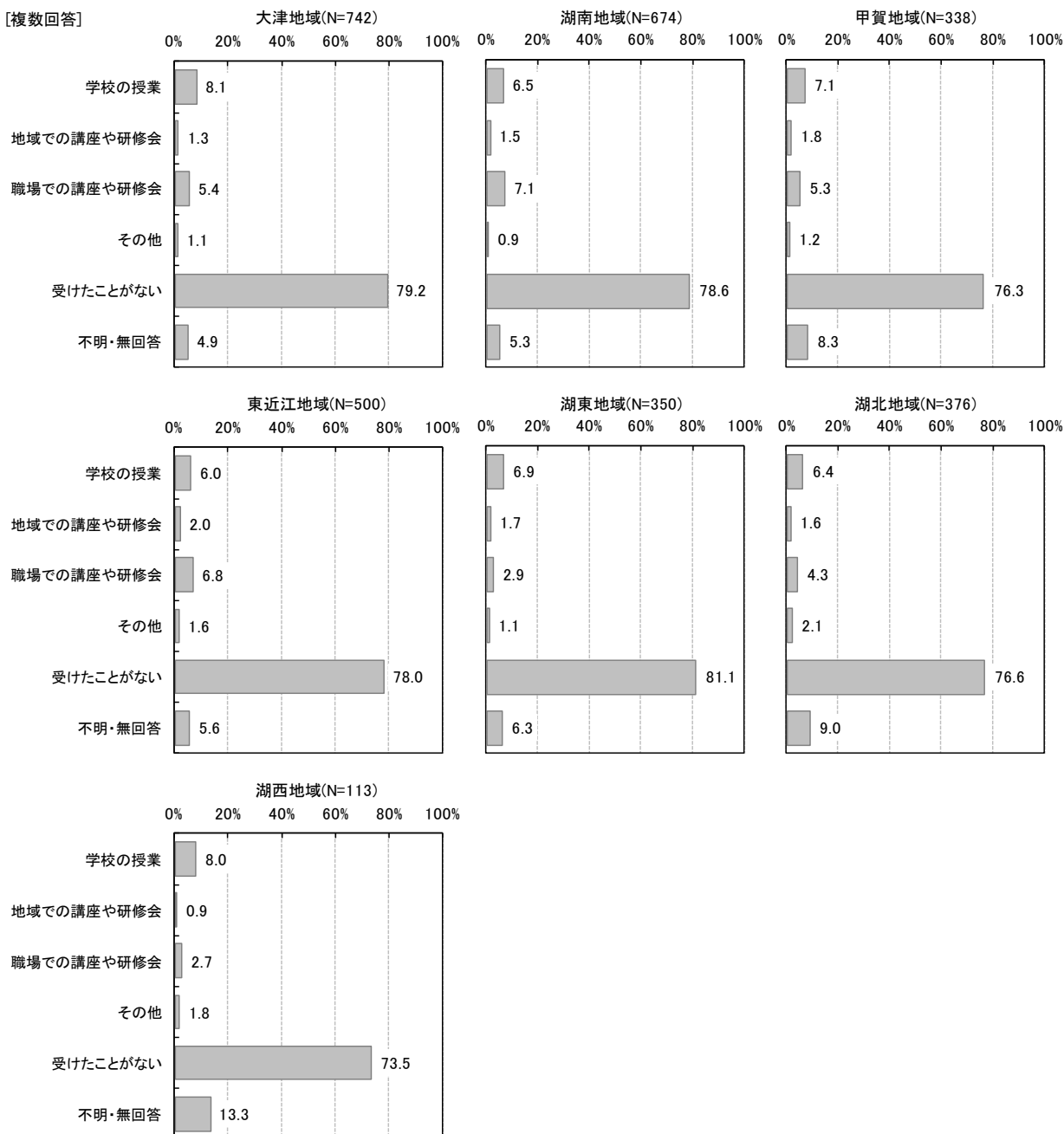
[複数回答]



⑦消費生活に関する法律や制度に関すること

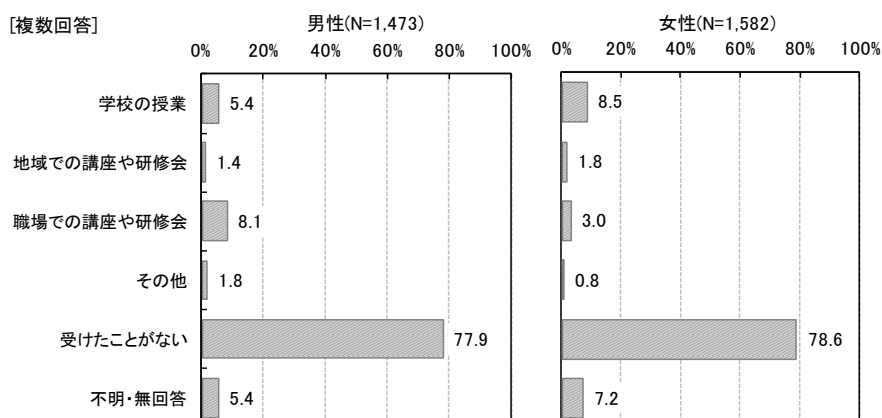
【地域別】

[複数回答]



【性別】

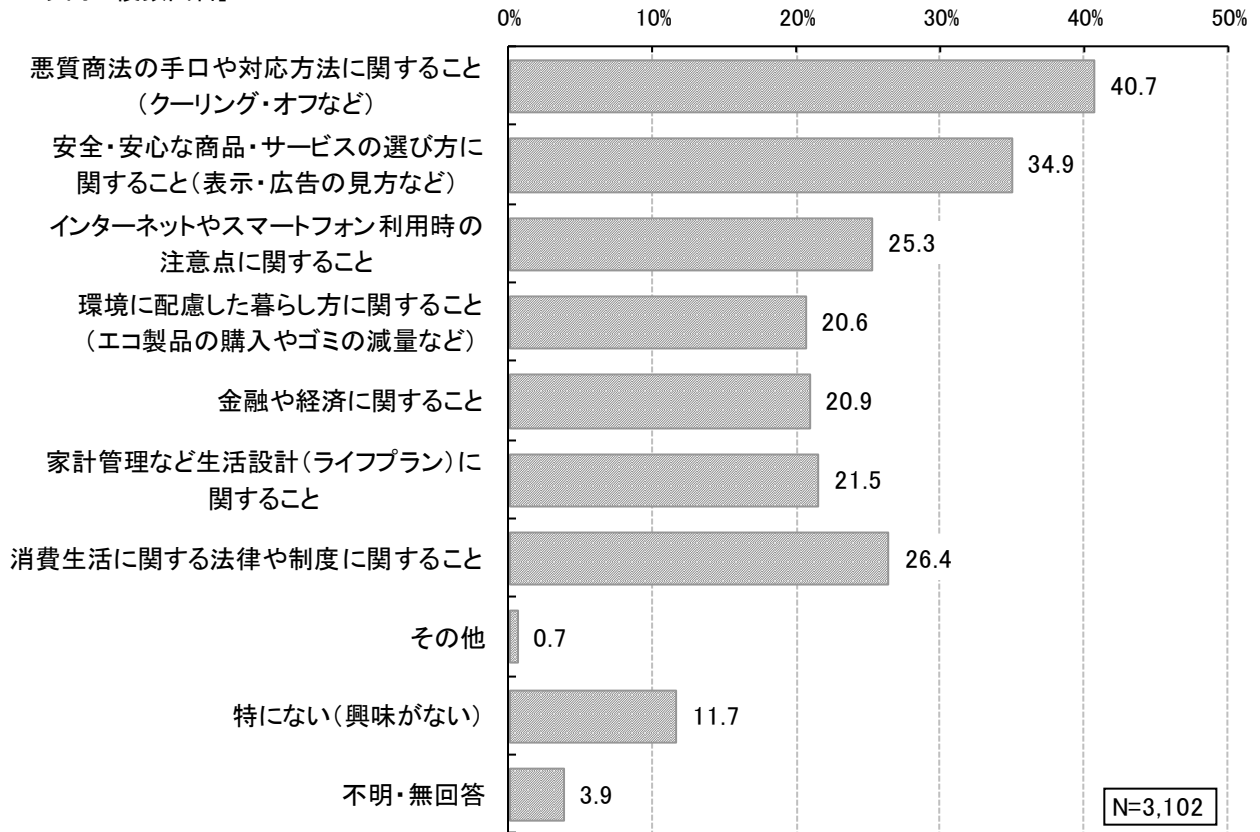
[複数回答]



(2) 消費者教育について、今後知りたい分野

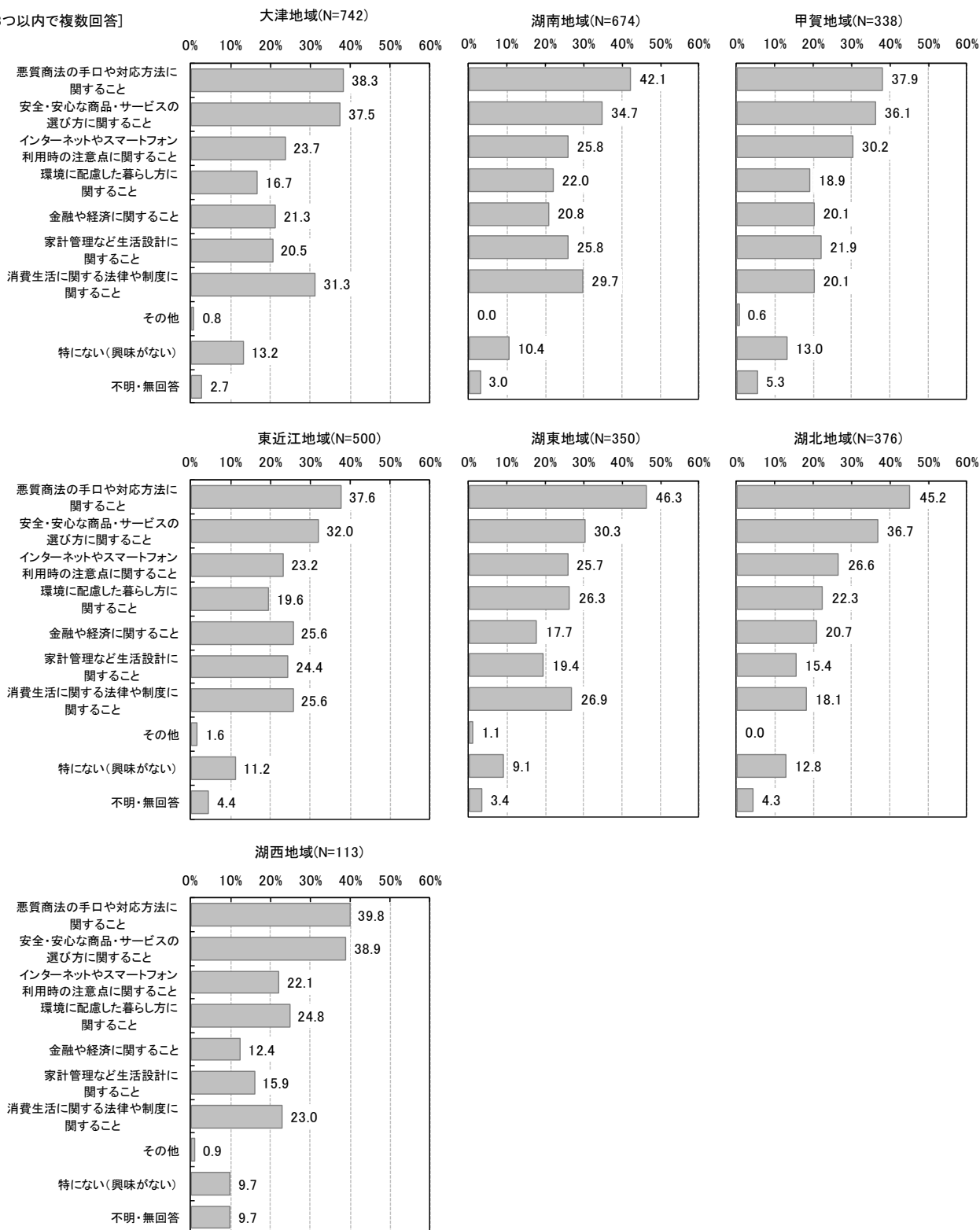
問25 消費者教育に関連して、あなたが今後、特に知りたい分野はどれですか。
(○は3つまで)

[3つ以内で複数回答]



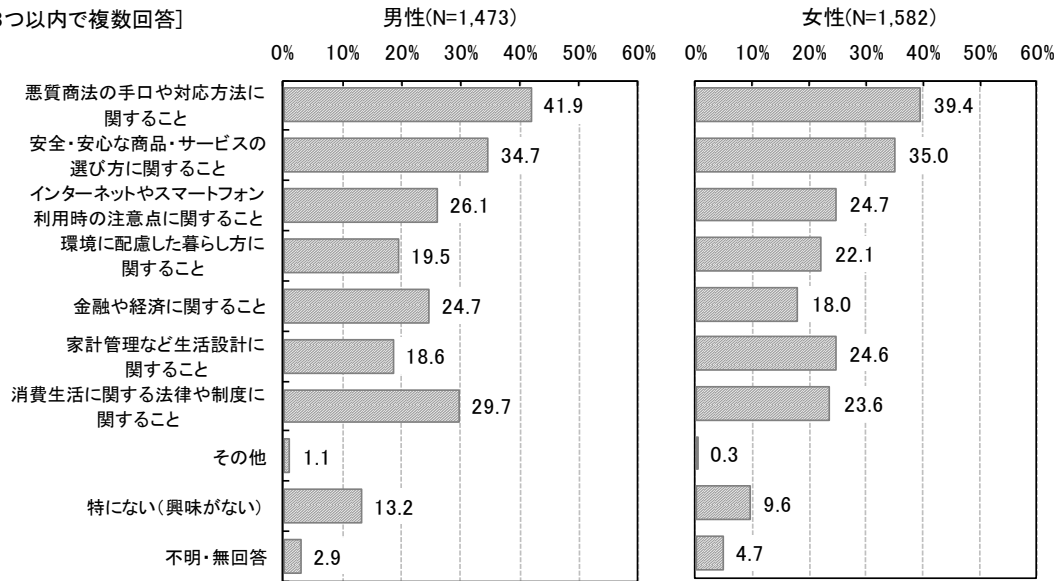
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

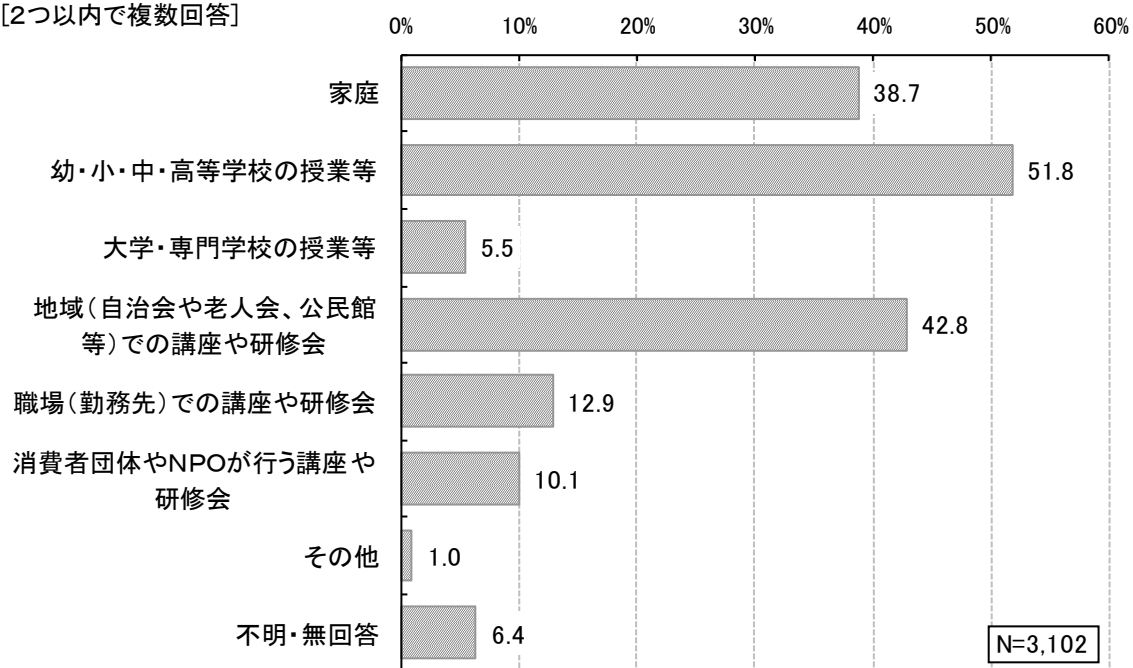
[3つ以内で複数回答]



(3) 消費者教育が行われる場として重要だと思うもの

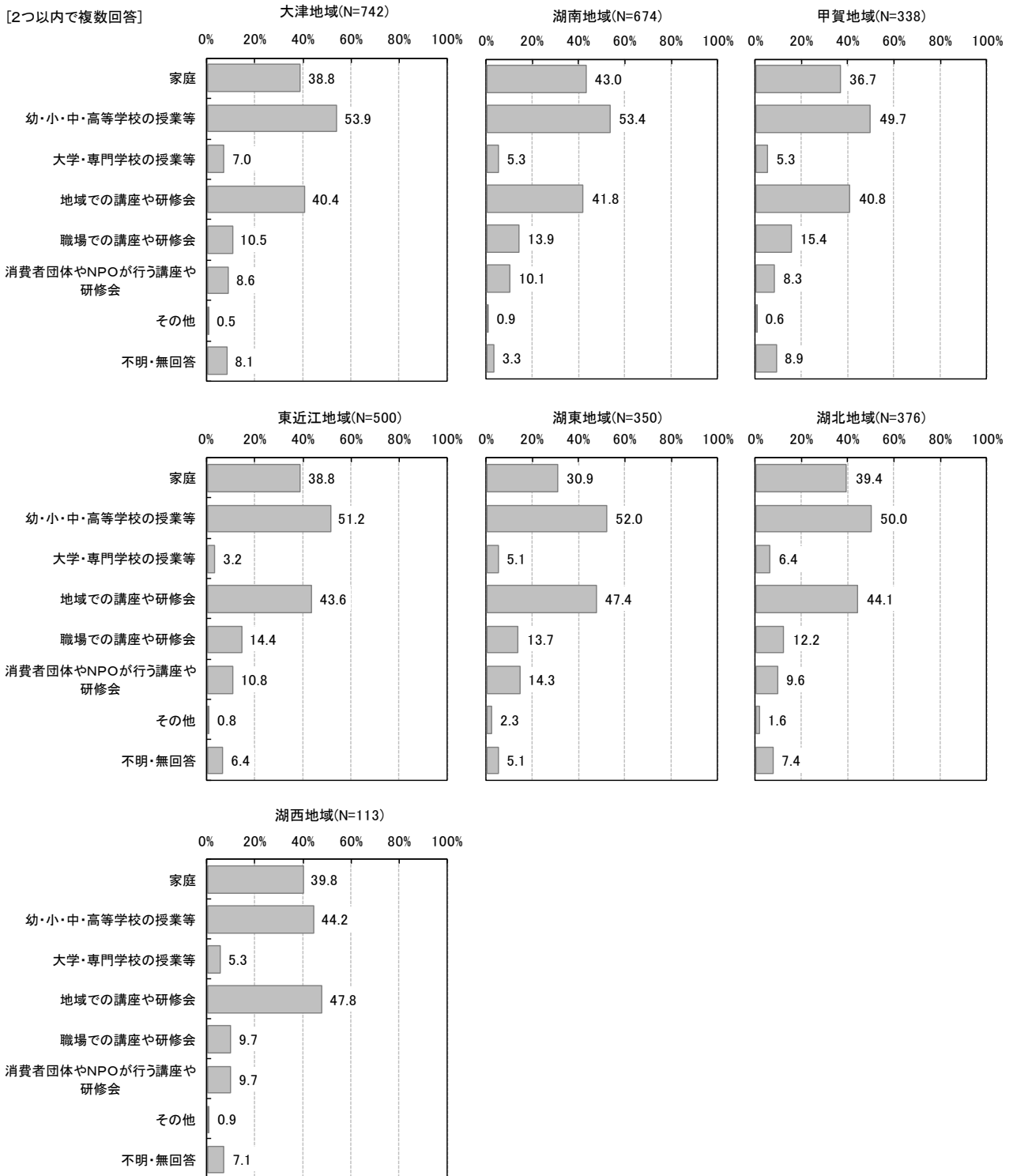
問26 消費者教育が行われる場として、あなたが特に重要だと思うものは次のどれですか。(〇は2つまで)

[2つ以内で複数回答]



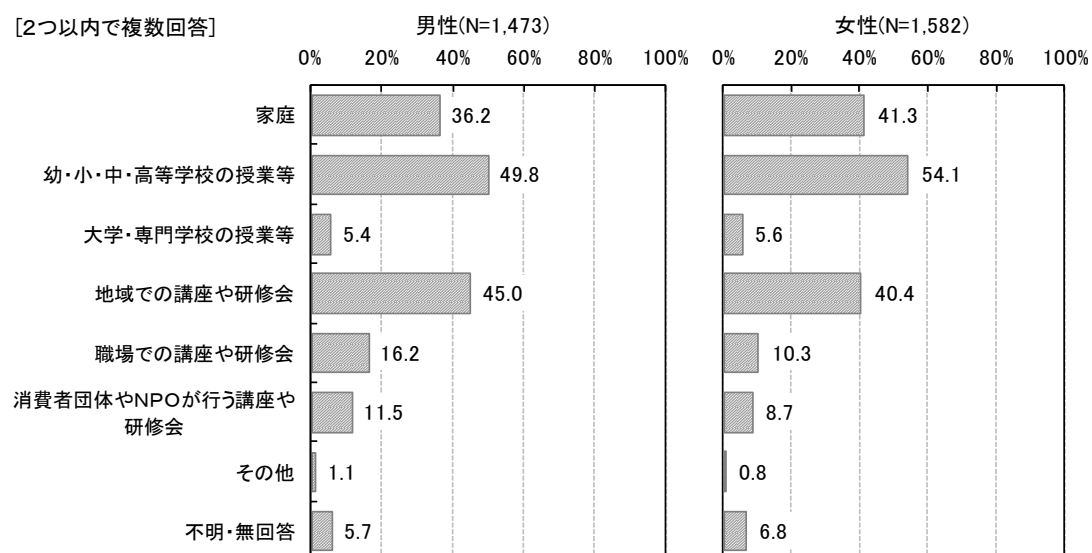
【地域別】

[2つ以内で複数回答]



【性別】

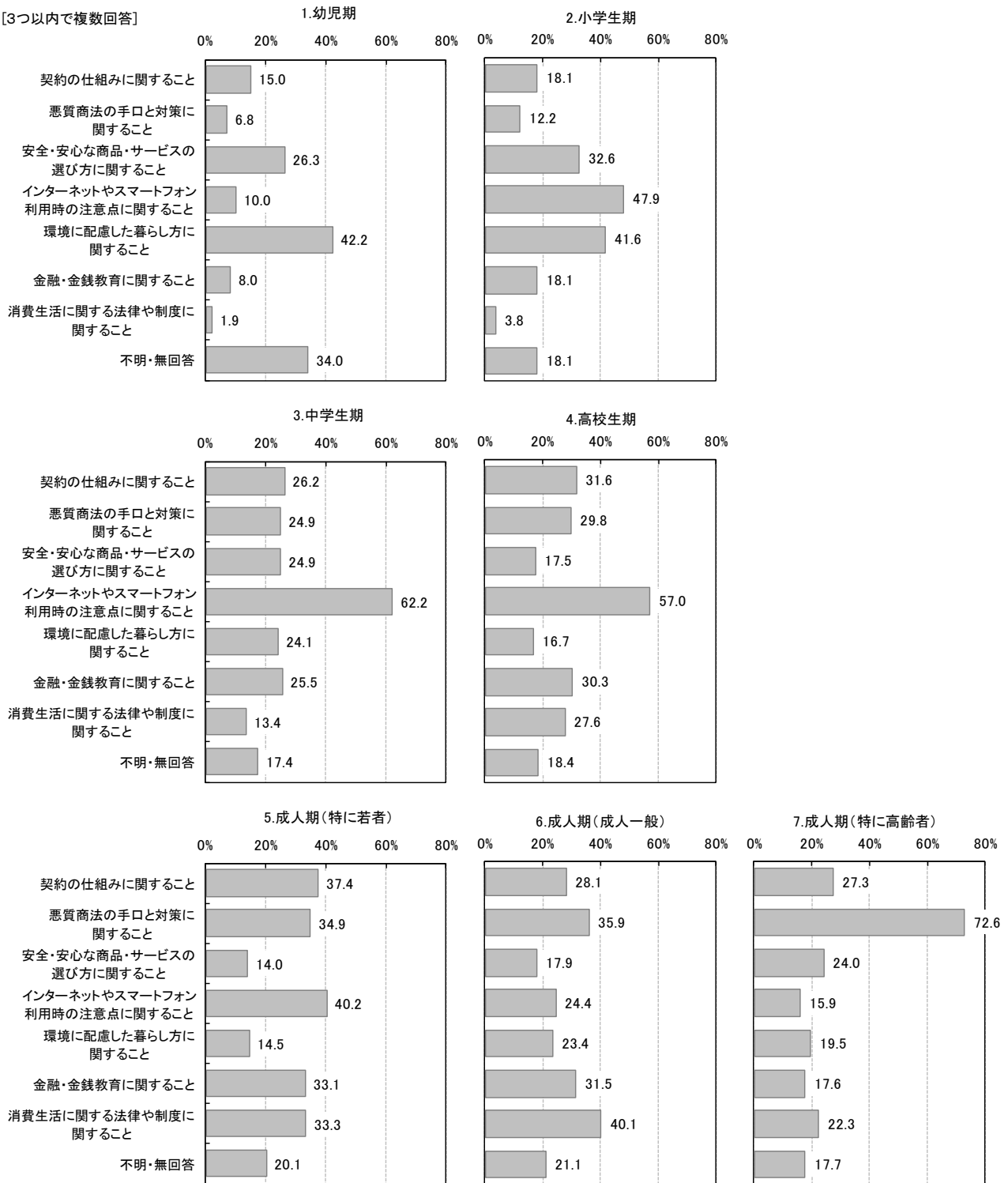
[2つ以内で複数回答]



(4) 幼児期から高齢期の各時期で重要だと思う消費者教育

問27 幼児期から高齢期までの各時期においては、どのような消費者教育が重要だと思いますか。幼児期～成人期のそれぞれの時期について、右の欄の1～7の中から当てはまるものを選んでください。(〇はそれぞれ3つまで)

[3つ以内で複数回答]

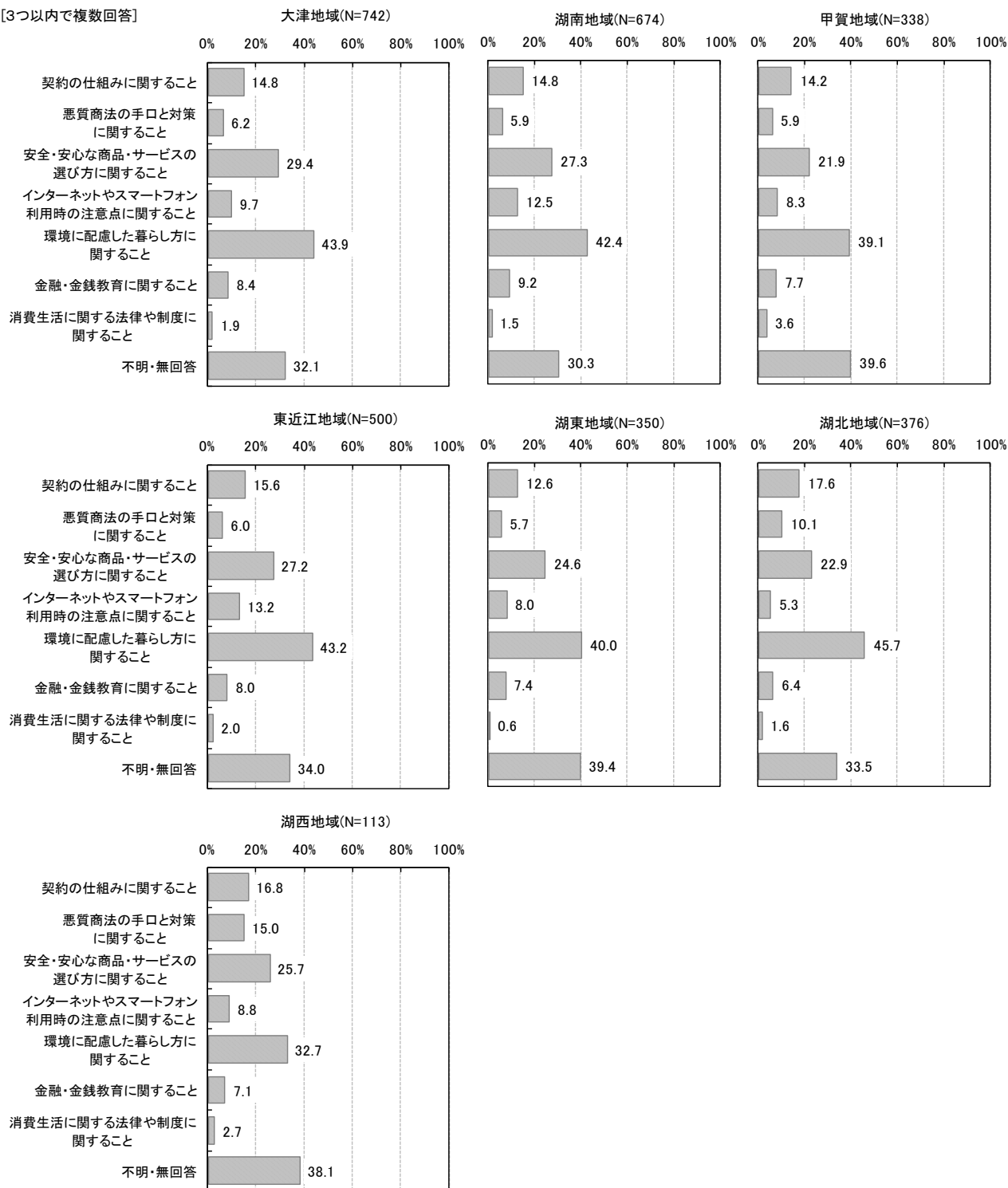


N=3,102

① 幼児期

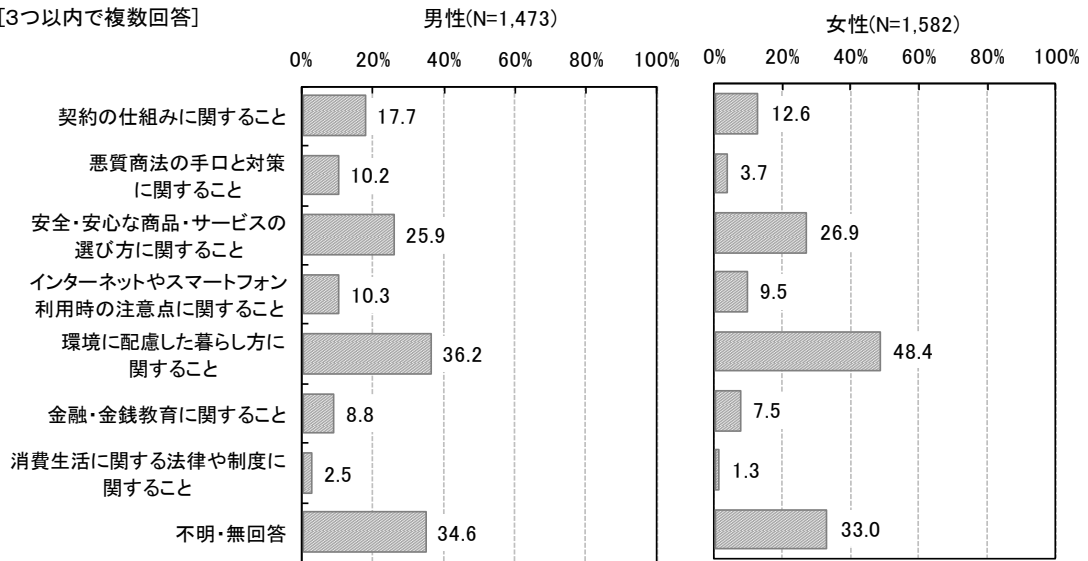
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

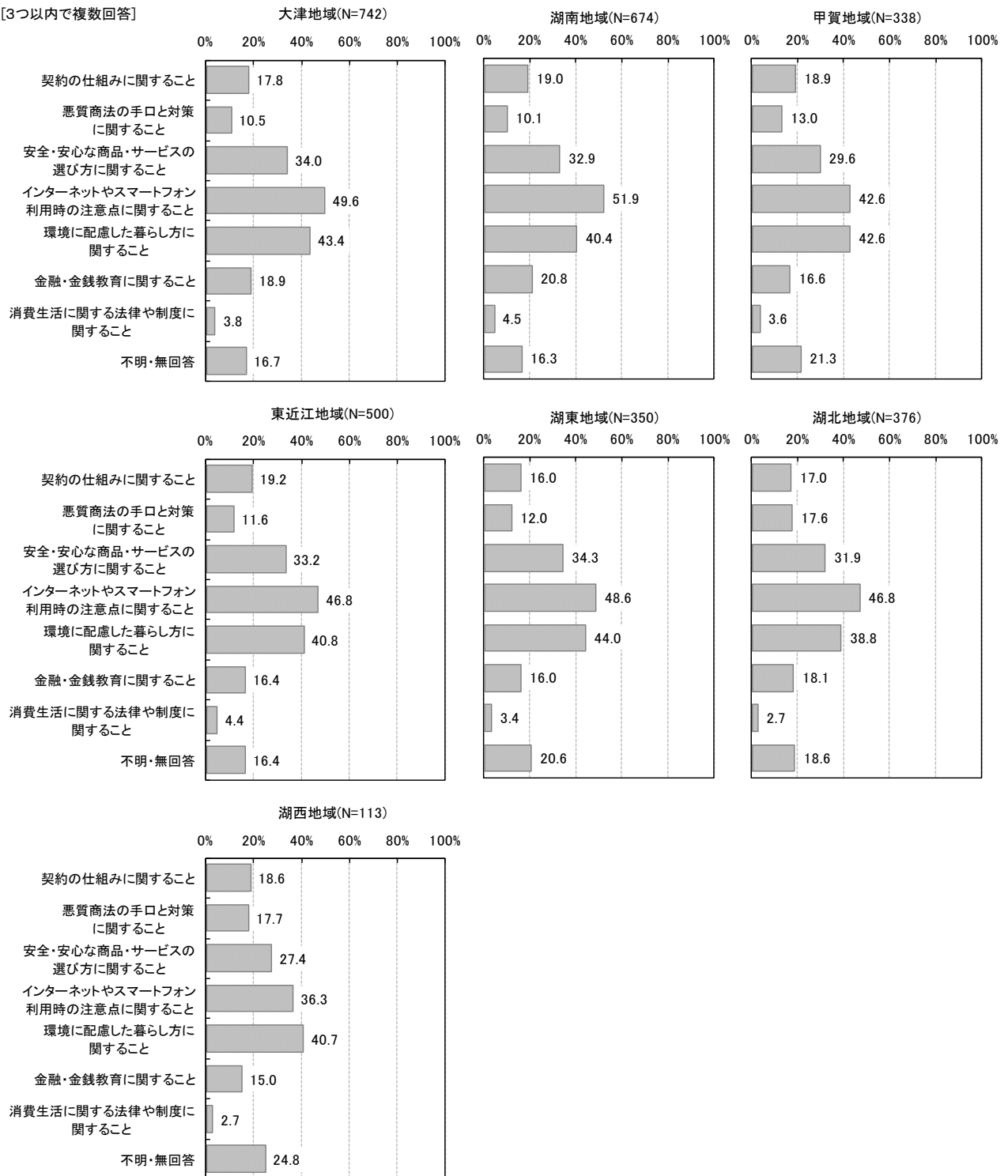
[3つ以内で複数回答]



②小学生期

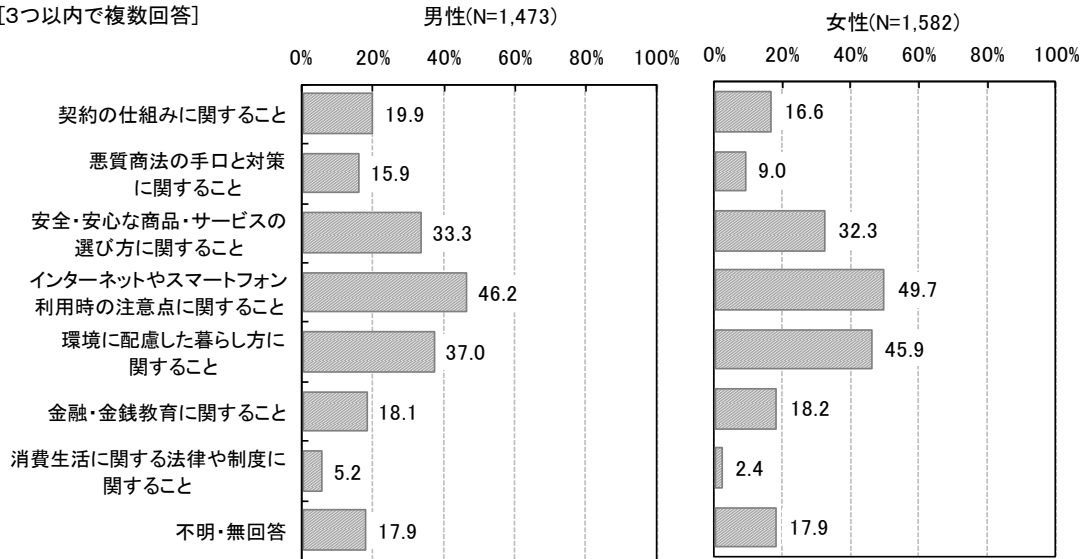
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

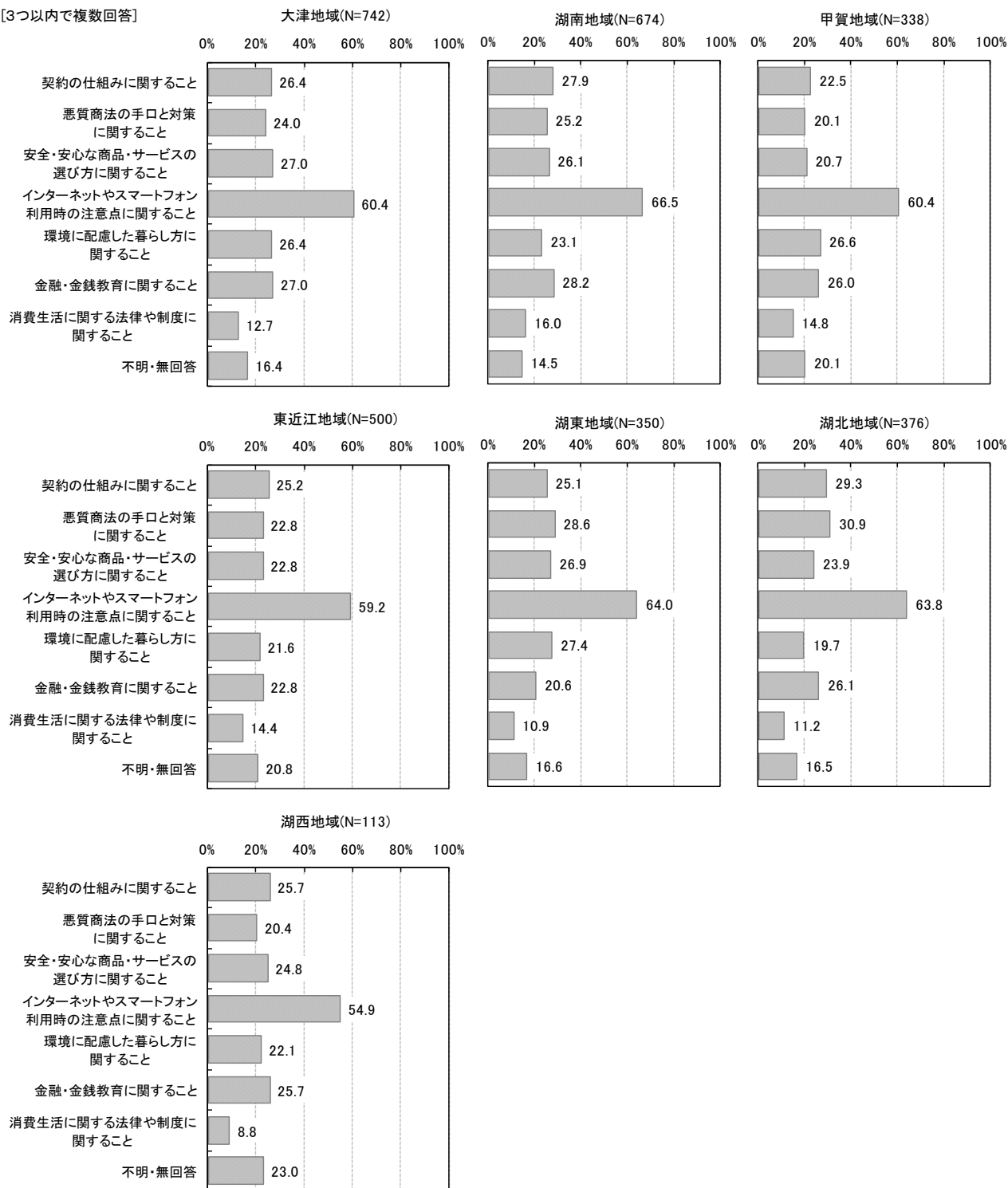
[3つ以内で複数回答]



③中学生期

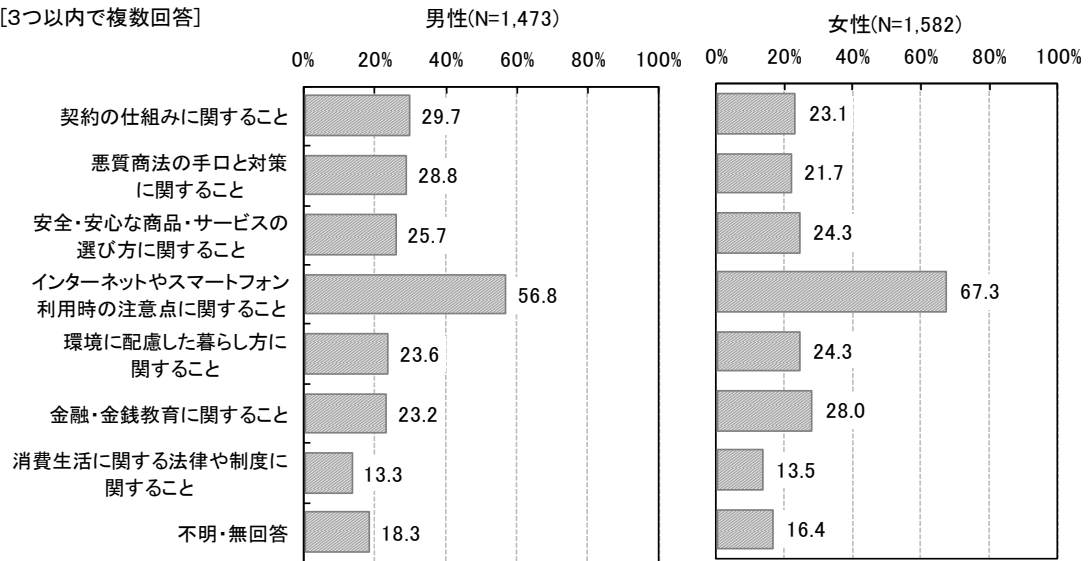
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

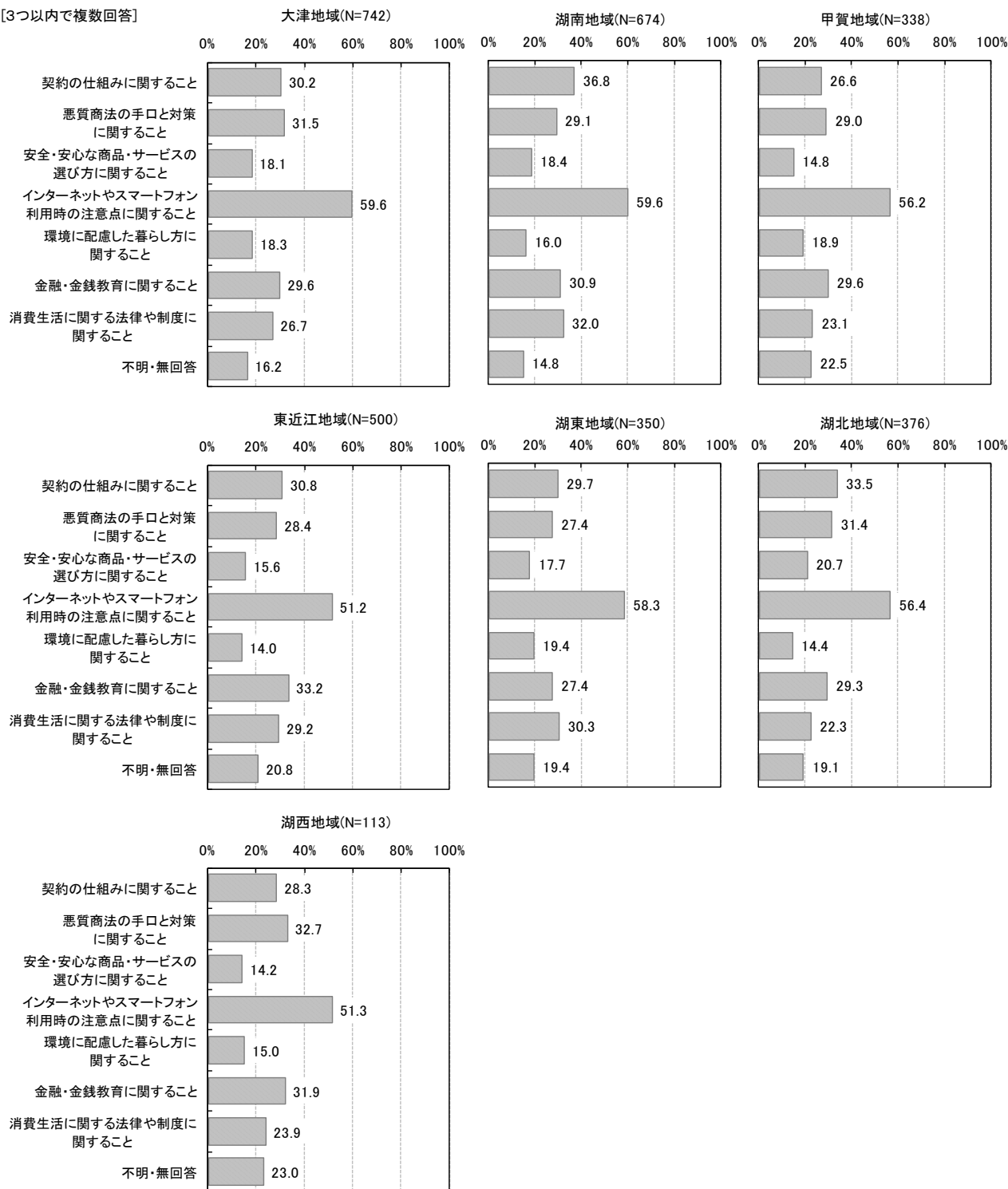
[3つ以内で複数回答]



④高校生期

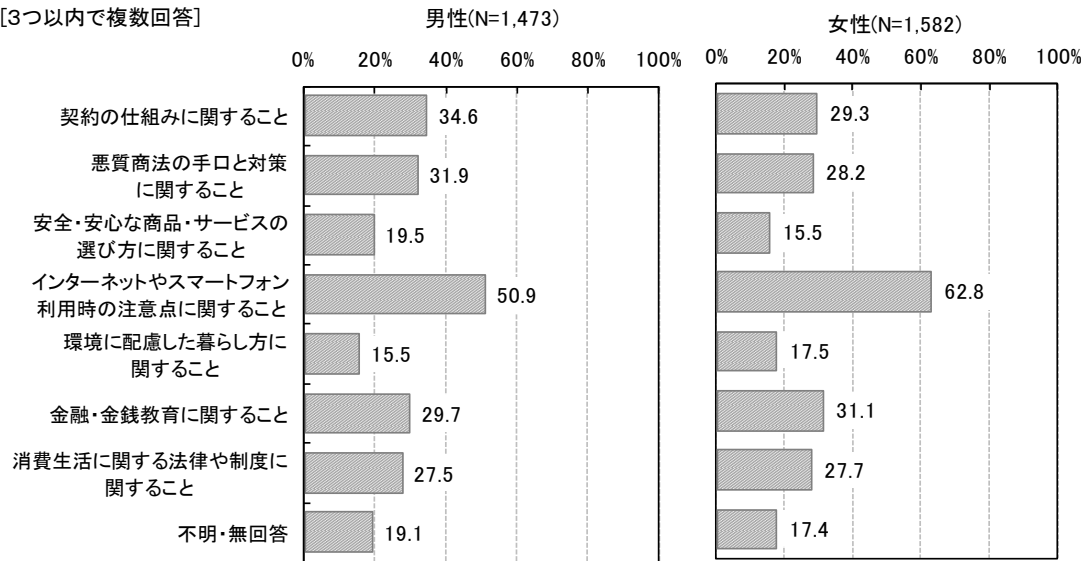
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

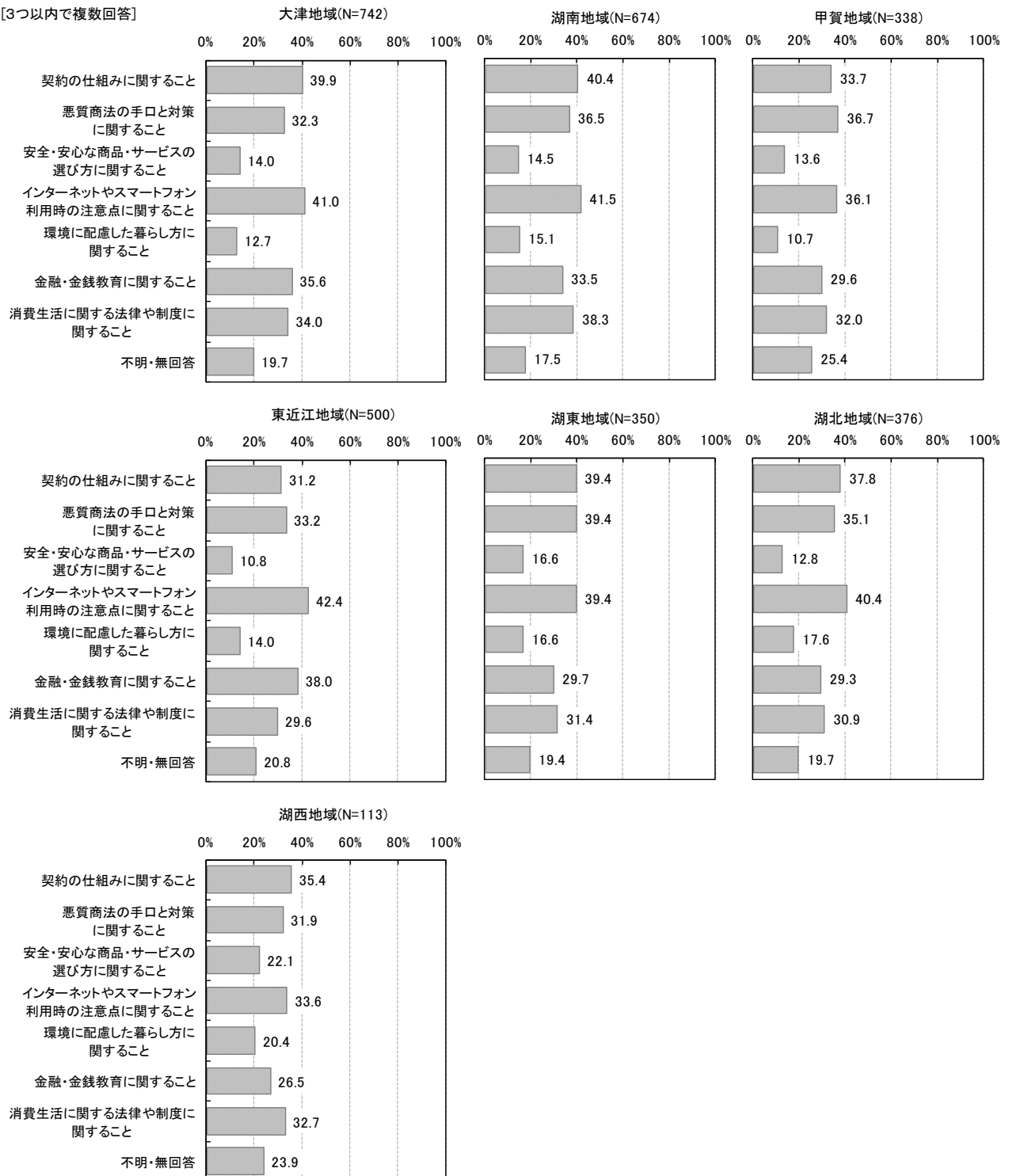
[3つ以内で複数回答]



⑤成人期（特に若者）

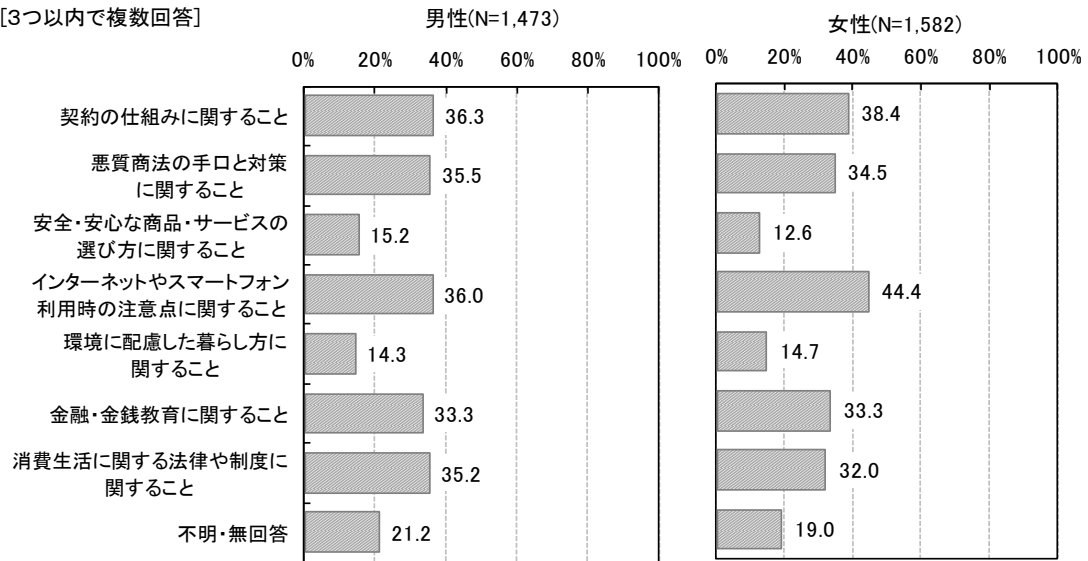
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

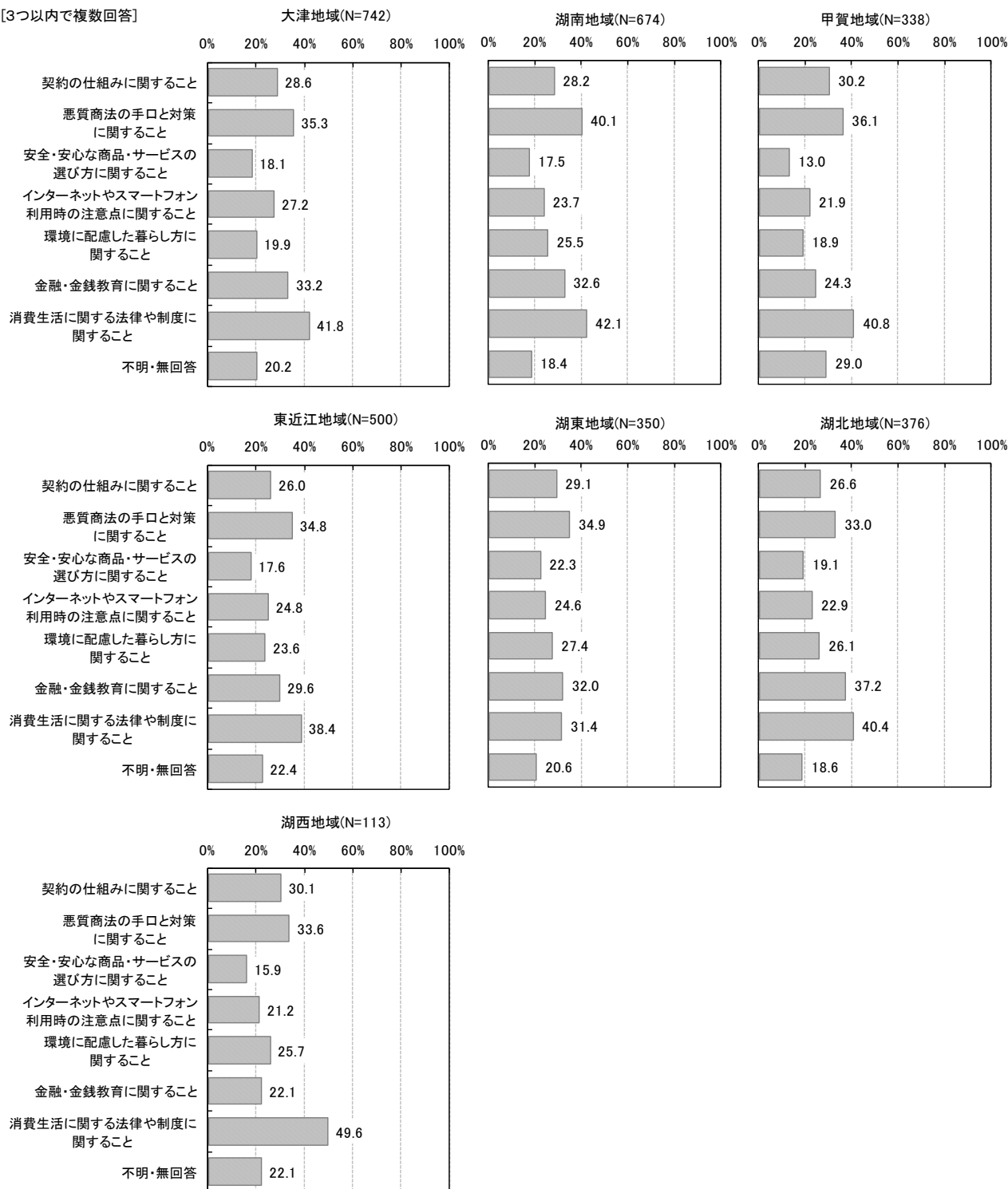
[3つ以内で複数回答]



⑥成人期（成人一般）

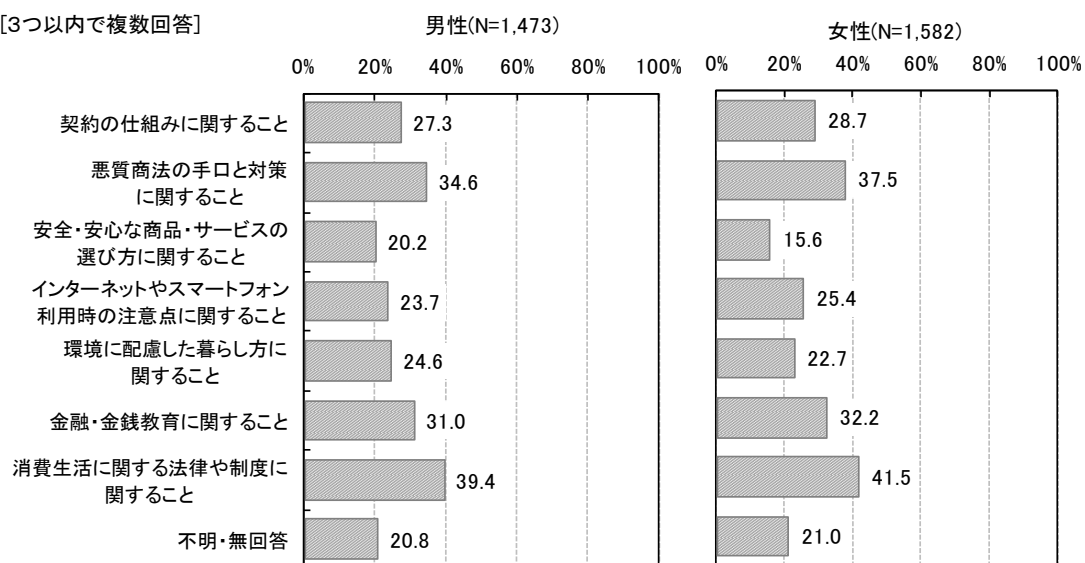
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



【性別】

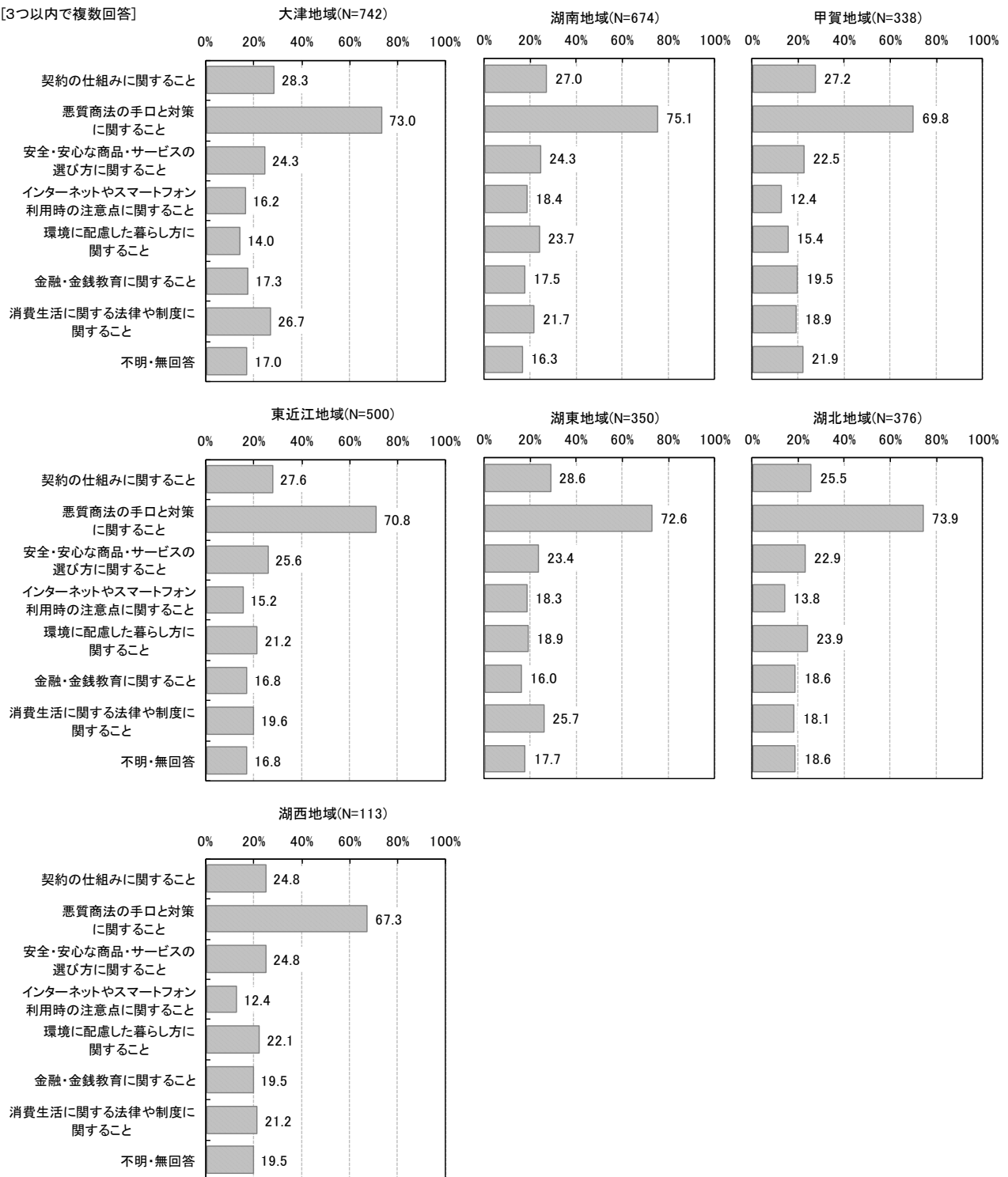
[3つ以内で複数回答]



⑦成人期（特に高齢者）

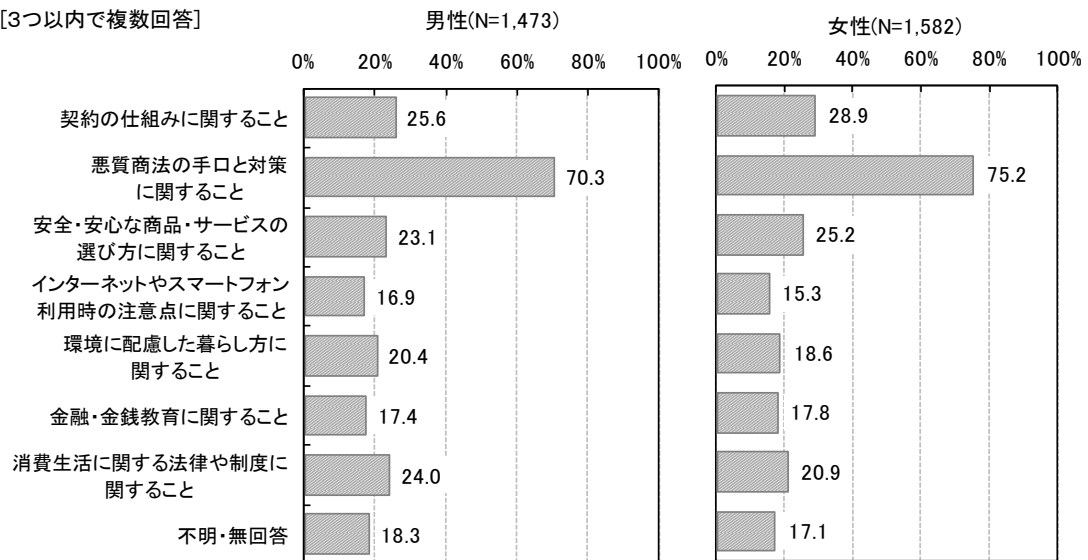
【地域別】

[3つ以内で複数回答]



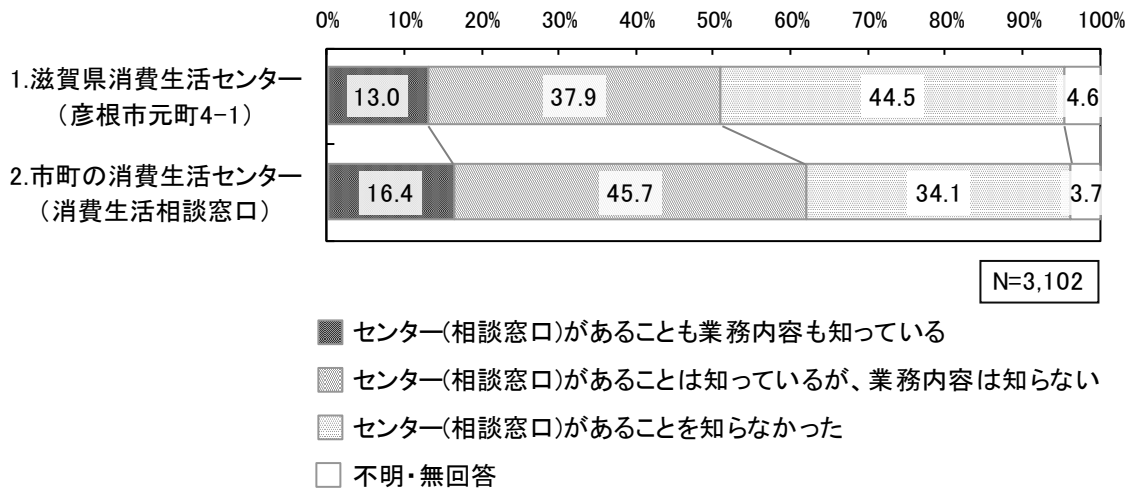
【性別】

[3つ以内で複数回答]



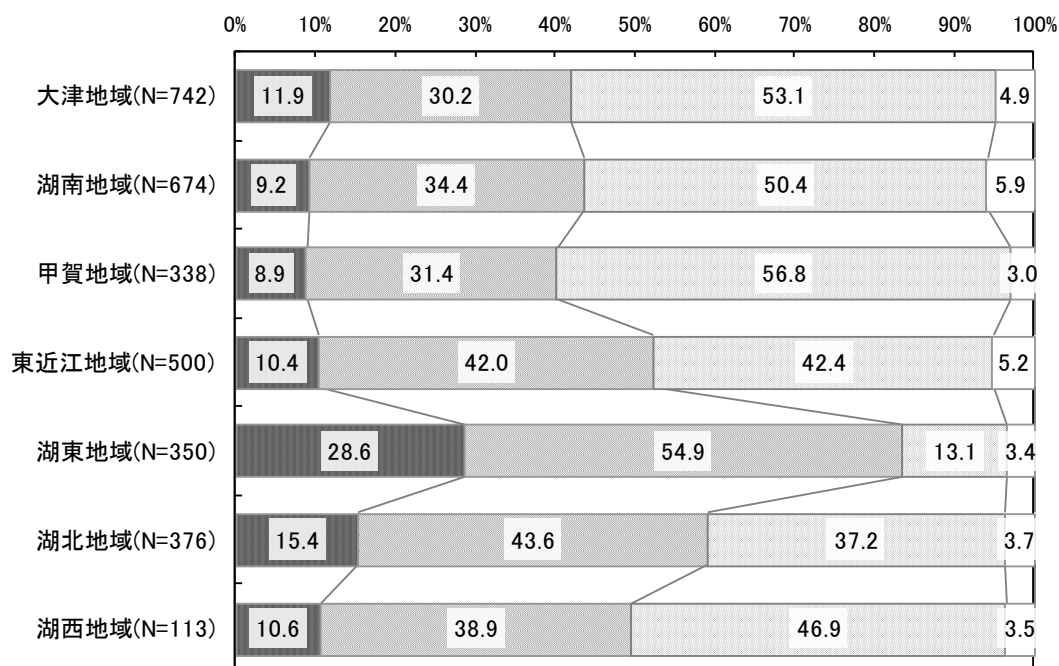
(5) 県消費生活センター・市町の消費生活センター（相談窓口）の認知度

問28 滋賀県消費生活センターでは、消費生活に関する相談を受け付けたり、消費生活に関する様々な情報や学習機会を提供しています。また、県下すべての市町に、消費生活センター（または消費生活相談窓口）があります。
 あなたは、滋賀県消費生活センターや、お住まいの市町の消費生活センター（消費生活相談窓口）を知っていますか。（○はそれぞれ1つずつ）



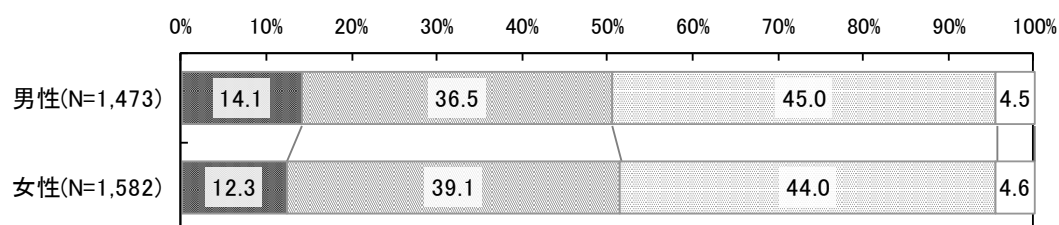
①滋賀県消費生活センター（彦根市元町４－１）

【地域別】



- センターがあることも業務内容も知っている
- センターがあることは知っているが、業務内容は知らない
- センターがあることを知らなかった
- 不明・無回答

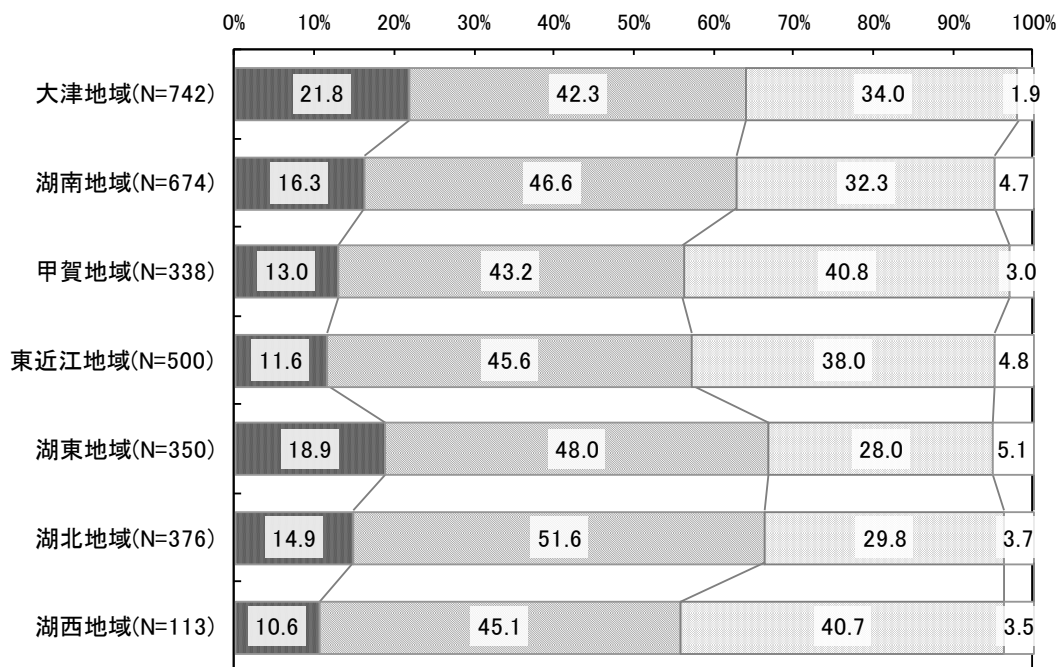
【性別】



- センターがあることも業務内容も知っている
- センターがあることは知っているが、業務内容は知らない
- センターがあることを知らなかった
- 不明・無回答

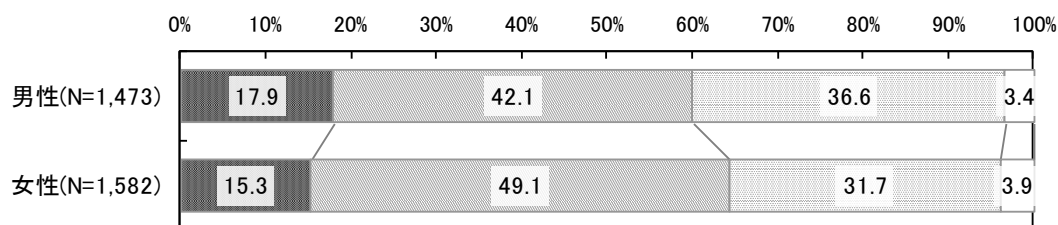
②市町の消費生活センター（消費生活相談窓口）

【地域別】



- センター(相談窓口)があることも業務内容も知っている
- センター(相談窓口)があることは知っているが、業務内容は知らない
- センター(相談窓口)があることを知らなかった
- 不明・無回答

【性別】



- センター(相談窓口)があることも業務内容も知っている
- センター(相談窓口)があることは知っているが、業務内容は知らない
- センター(相談窓口)があることを知らなかった
- 不明・無回答